



環境大臣認定
エコ・ファースト企業



エコアクション21
認証番号 0013637



エコアクション21
環境経営レポート
2023

Environmental Management Report

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日
発行日：2024年5月1日

“Beloved Company”

有限会社 藤岡保険コンサルタント



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



代表挨拶

気候変動問題は、我々保険事業に携わる企業にとっても、決して他人毎ということではなく、保険事業のサステナビリティに関わる極めて重要な経営課題の一つになっています。弊社は、社員数も10名に満たない小さな会社です。そのため、限られたリソースの中で、SDGsや環境保全への取り組みなど、これらを本気で実践・継続し続けるという事は、我々にとっても簡単なことではありません。しかしながら、モノづくり産業ではない我々のような企業にとっても、環境保全への取り組みは、社員一人一人の成長とそれに伴う知識や行動力、それらを高めることで社会的な貢献意識をしっかりと育むことができる、大変有効なマネジメント手段であると考えています。

弊社は、2023年4月に環境分野において先進的で独自のかつ業界をリードする環境先進企業であることを環境大臣が認定する制度・「エコ・ファースト企業」に小規模事業者としては【全国初】となる認定を頂きました。また、8月には広島県と「グリーンボンド環境保全活動」の連携協定を締結するなど、国や自治体との連携も強化した形での環境経営の実践に取り組みました。あらためて、我々のような地方の小さな会社が、名だたる大企業と並んで認定を頂けたことは、大変名誉な事であるとともに、これからも、環境経営の実践を継続していく上で、大きな自信となりました。あらためて地球環境保全に向けた取り組みが、日常業務への原動力にも繋がっている事を再確認できました。

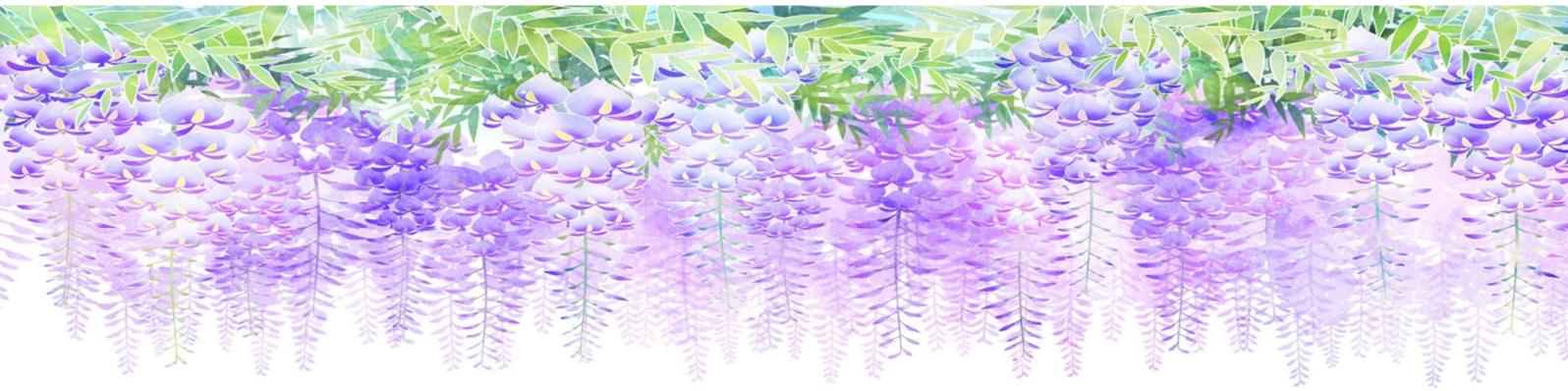
今後は、環境省や自治体とも情報交換や連携強化を図りながら、引き続き、様々な情報収集・発信を行うなど、中小企業ならではの強みを活かした環境経営で、具体的な実践に結びつけて参ります。

それでは「環境経営レポート 2023」をご報告させていただきます！



有限会社 藤岡保険コンサルタント

代表取締役社長 藤岡 徹也



支安願
元らい
空きい



(有)藤岡保険コンサルタント

この3つの言葉は、コロナ過の中で女性社員一人一人から言葉を募り、
繋ぎ合わせた「私たちの想い」です！



CONTENTS

代表挨拶	P1	13. 環境への取り組み	P28
1. 会社概要(私たちの想い)	P4	①エコ・ファースト認定企業	P28
2. SDGs 宣言	P6	②海岸林の植林活動	P30
3. 環境経営方針	P7	③ひろしまエコ事業所認定	P31
4. サステナビリティ経営戦略	P8	④社員への環境教育	P31
5. 6つのマテリアリティとSDGs への貢献	P9	⑤再エネ100%への取り組み	P32
6. サステナビリティ推進体制ならびに責任と権限	P11	⑥グリーンボンド(ESG 投資)	P33
7. ESG経営の取り組み	P12	⑦海岸保全清掃活動	P33
8. 中期3カ年環境経営目標と長期計画	P15	⑧災害から命を守る活動	P34
9. 2023年度 環境経営活動計画	P16	⑨お客様の「エコドライブ」をサポート	P35
10. 2023年度 環境経営目標と実績・結果	P17	⑩「みんな de グリーンイノベーション」	P35
11. 2023年度 活動報告と今後の取り組み	P18	⑪「森林保全活動」への参加	P37
① 電力使用量の削減	P18	⑫「平和折り鶴再生紙」名刺	P38
② ガソリン使用量の削減	P19	⑬「同友エコ奨励賞」受賞	P38
③ 複合機印刷枚数の削減	P20	⑭「デコ活」宣言登録企業	P38
④ 一般廃棄物排出量の削減	P21	14. SDGsの取り組み	P41
⑤ 水使用量の削減	P22	① 健康経営の取り組み	P41
⑥ エシカル消費の推進	P23	②「地域共生社会」の取り組み	P42
⑦ デジタル革新(DX)の推進	P24	② SDGs取り組みの情報発信	P43
⑧ 「花」と「緑」で環境美化	P25	③ 人づくり経営・人材育成	P44
⑨ 地域コミュニティと社会貢献活動	P26	④ BCP 対策と情報セキュリティ	P45
12. 環境関連法規等の遵守状況と確認・結果	P27	⑤ ガバナンス(企業統治)	P47
		⑦ 新聞取材・雑誌掲載等	P48
		15. 代表者による全体評価・見直し	P39
		16. 私たちが実現したい「みらいビジョン」	P50

1. 会社概要

社 名 有限会社 藤岡保険コンサルタント
代 表 者 代表取締役社長 藤岡 徹也
環 境 責 任 者 専務取締役 藤岡 多嘉子
所 在 地 広島県広島市佐伯区利松2-12-10 (EA21 対象範囲)
連 絡 先 TEL : 082-928-8371 FAX : 082-928-2915
E-mail : hoken@fujiooka-21.co.jp URL : hiiroshima-fp.com/
事 業 内 容 損害保険・生命保険代理業 (EA21 対象範囲)
取 扱 会 社 東京海上日動火災保険(株) メットライフ生命保険(株)
東京海上日動あんしん生命(株)
資 本 金 300万円
売 上 高 5330万円 (2023 年度)
従 業 員 7名 (うち役員4名)



認定・認証(社内掲示)



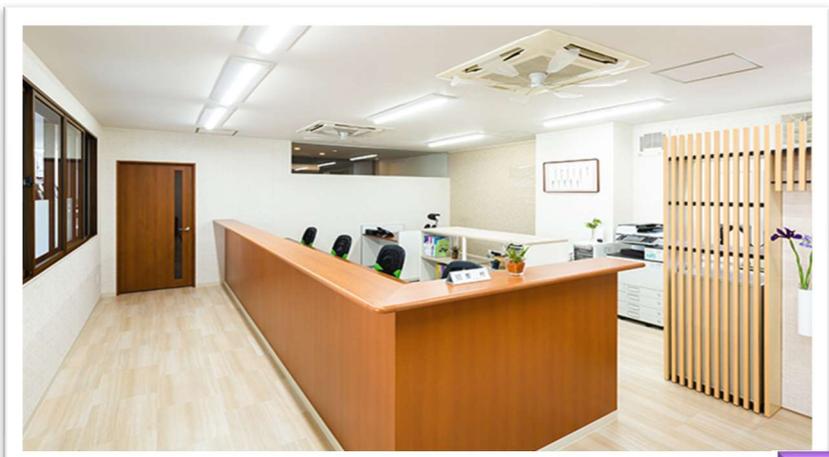
願い・安らぎ・支え愛



応接室の風景



オフィスの入口(外側)風景



オフィスの入口(内側)風景

私たちの想い（経営理念）

《Mission》経営理念

一人でも多くのお客様に上手な保険の入り方を伝えたい！

《Value》行動指針

我々は、「ありがとう」の感謝の心を、何よりも大切にいたします。

我々は、お客様のためなら、一切の妥協も遠慮もいたしません。

我々は、向上心を絶やさず、努力と挑戦を、これからも追及していきます。

我々は、地域に愛され存在し続けるために、地域社会に貢献していきます。

《Vision》将来理想

【Three generations】

三世代にわたってお任せ頂ける

地域 NO.1 の総合保険代理店を目指します。

2. SDGs 宣言



SDGs宣言

当社は、国連が提唱する「**持続可能な開発目標 (SDGs)**」に賛同し、SDGsの達成に向けた取り組みを通じて、みらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会の実現に貢献して参ります。



有限会社 藤岡保険コンサルタント

代表取締役社長 藤岡 徹也

2022年1月5日

～ SDGs達成に向けた取り組み ～

環境保全・気候変動対策

脱炭素社会の実現を目指し「エコアクション21」のガイドラインに則り、二酸化炭素の排出量削減や環境保全への貢献に取り組みます。



ダイバーシティ&インクルージョン

多様性を尊重し、お互いの考え方や個性を受け入れ、共に成長し合える、皆が笑顔で働きやすい職場環境の構築に努めます。



デジタル革新(DX)の推進

人と人とのつながりをデジタルが支える社会へと進化・成長させるため、デジタル革新(DX)を積極的に導入し、社員のやりがいとお客様への利便性向上を実現します。



健康経営の実践

心身ともに元気に働き続けられる「健康づくり」に取り組むことで、組織の活性化や生産性の向上に繋がります。



事業継続力強化対策(BCP)

保険事業に携わる企業として、大規模災害や感染症等の緊急事態に備えた「事業継続力強化計画(BCP)」を策定し、防災・減災への取り組みや災害レジリエンス強化に努めます。



3. 環境経営方針

【環境経営方針】

当社は、事業活動とSDGsへの取り組みを通じて、100年先のみらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会を実現するために、人と自然とが「共存共栄」できる地球環境保全に貢献することで、地域に愛され存在し続けられる“Beloved Company”（愛される会社）を目指します。



【環境行動指針】

- ① CO₂排出量の削減に向けた5つの項目（電力・一般廃棄物・ガソリン・水・紙）における環境目標を設定し、継続的な実践と改善に取り組みます。



- ② 「鎮守の森のプロジェクト」などを通じて、お客様と共に防災・減災に繋がる地球環境保全に貢献していきます。



- ③ デジタル(DX)イノベーションの推進で、あらゆる業務の効率化とペーパーレス化を実現します。



- ④ 環境経営システムの構築と計画的な環境教育を実施し、環境保全に対する意識の浸透と向上に努めます。



- ⑤ 適用される環境関連法規等を遵守し、環境保全活動の情報は当社 HP や SNS 等を通じて公表します。



制定 2021年4月1日

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

有限会社 藤岡保険コンサルタント
代表取締役社長 藤岡 徹也

4. サステナビリティ経営戦略

この度のサステナビリティ経営戦略の策定に際して、(A)当社が掲げてきた【**経営理念(Mission)**】は今後も当社の不変的スローガンと位置付け、(B)【**2030年ビジョン**】の実現に向けた「グリーン×デジタル」成長戦略でさらなるシナジー効果を追求し、(C)その長期ビジョン達成に向けた【**中長期に実現すべき姿**】を定め、(D)デジタル活用3カ年計画と題して【**6つの成長戦略**】を立案しました。「新中期経営計画2024」では、「未来創造への挑戦」として3つのコアを中心に、これからのサステナブルな事業経営を支える基盤として、社員一丸となり取り組みを実践していきます。

A

経営理念(Mission)

『一人でも多くのお客様に上手な保険の入り方を伝えたい！』

～お客様から最も選ばれる総合保険代理店を目指す～

B

新長期ビジョン(Vision 2030)

「グリーン×デジタル」社会の実現へ！

～我々の目指すべき 未来プロジェクト 2030～

グリーン社会の実現

デジタル社会の推進

C

長期ビジョンに向けて「中長期に実現すべき将来像」

SDGsが目指す
持続可能な社会への貢献

スモールビジネスで
No.1 クオリティを実現

道経一体(道徳と経済)
経営の精神

D

～デジタル活用3カ年計画～「6つの成長戦略」

LINE@によるお客様接点

マイページアプリ活用

新代理店システム TNEXT

らくらく手続きシリーズ

AIによるコンサルティング

損害サービスデジタルモデル

新中期経営計画 2024

Challenge to create the future ～未来創造への挑戦～

エコアクション21の取組
(GX)

人とデジタルの融合
(DX)

顧客体験価値の創造
(CX)

5. 6つのマテリアリティとSDGsへの貢献

暮らし 人と社会が「共存共栄」

- ・地域共生社会
- ・人と社会を支えるソリューション
- ・地球環境保全活動
- ・レジリエントなまちづくり



環境 「未来世代に繋げる」地球環境への貢献

- ・エコアクション21
- ・CO₂排出量削減
- ・資源の循環有効活用
- ・環境啓発森林海洋保全
- ・再生可能エネルギー



人 「人材」の育成・活躍

- ・D & I
- ・成長と挑戦
- ・イノベーション人材育成
- ・女性が美しく輝ける職場
- ・人権デューデリジェンス



DX 「デジタル革新」

- ・顧客体験価値(CX)の創造
- ・DX推進でお客様の利便性を向上
- ・DXで新しいビジネスモデルの展開
- ・ICT活用で社員のやりがいと生産性向上
- ・業務効率化とペーパーレス化を実現



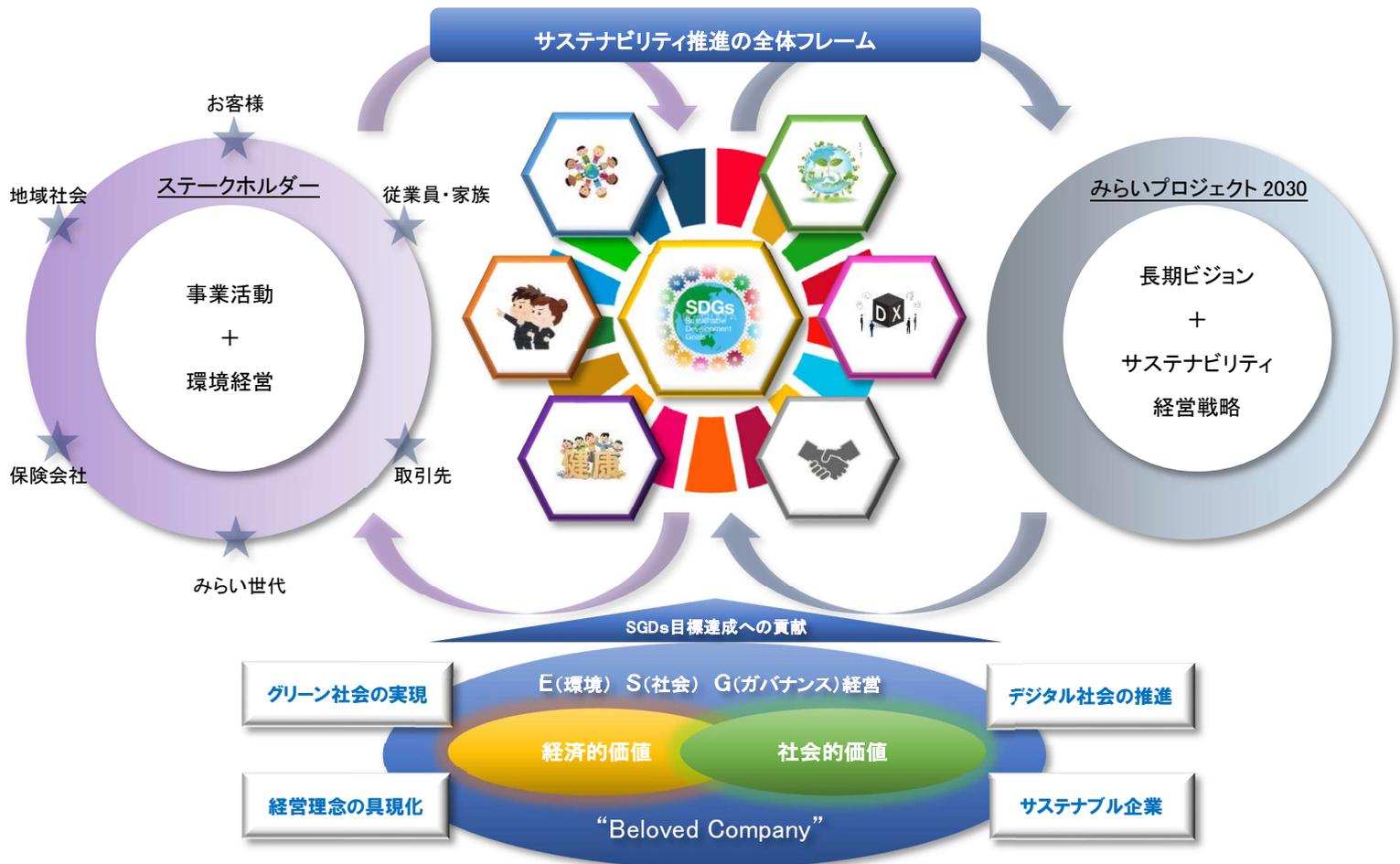
健康 「健康で心豊かな生活」

- ・ウィズコロナ
- ・健康経営優良法人の認定
- ・健康管理アドバイザー
- ・ガン検診推進運動
- ・働き方改革
- ・ワークライフバランスの向上



ガバナンス 「健全な経営基盤」の確立

- ・企業統治
- ・コンプライアンス
- ・リスクマネジメント
- ・情報セキュリティ



6つのマテリアリティ(重要課題)

当社は、2021年にSDGsへの貢献に向けて、社会的に重要度が高いと考える「6つのマテリアリティ(重要課題)」を特定しました。また、各課題とSDGsとの関連性も整理し、当社が掲げる2030ビジョン達成と持続可能な社会の実現に向けて、我々が優先的に取り組むべき重要な課題として位置付けています。



人と社会が「共存共栄」できる 安心・安全な暮らしを実現

- ▶ 地域共生社会の推進
- ▶ 人と社会を支えるソリューション(解決策)を創出
- ▶ 地球環境保全への貢献
- ▶ 防災・減災や災害レジリエント強化



「未来世代に繋なげる」 地球環境負荷低減への貢献

- ▶ エコアクション21
- ▶ CO₂排出量の削減
(電力/廃棄物/水/ガソリン/紙の使用量削減)
- ▶ 資源の循環・有効活用
- ▶ 環境啓発・森林・海洋保全活動への貢献
- ▶ エコカー・再生可能エネルギーの導入



企業を支える 「人財」の育成・活躍の促進

- ▶ ダイバーシティ(多様性) & インクルージョンの推進
- ▶ 誰もが成長し挑戦できる企業風土づくり
- ▶ イノベーション(革新)を生み出す人材育成
- ▶ 女性が健康で美しく輝ける職場環境の構築
- ▶ 人権を尊重する経営(人権デューデリジェンス)



「デジタル革新(DX)」で 顧客体験価値と生産性向上

- ▶ 顧客体験価値(CX)を創造
- ▶ DX推進でお客様の利便性を向上
- ▶ デジタル革新による新しいビジネスモデルを展開
- ▶ ICT活用で社員のやりがいと生産性向上
- ▶ 業務効率化とペーパーレス化を実現



すべての人々に 「健康で心豊かな生活」を提供

- ▶ ウィズコロナと持続可能な経営の両立
- ▶ 健康経営優良法人の認定取得
- ▶ 健康管理・医療・介護に関するアドバイザー
- ▶ 健康診断・ガン検診の推進運動
- ▶ 働き方改革とワークライフバランスの向上

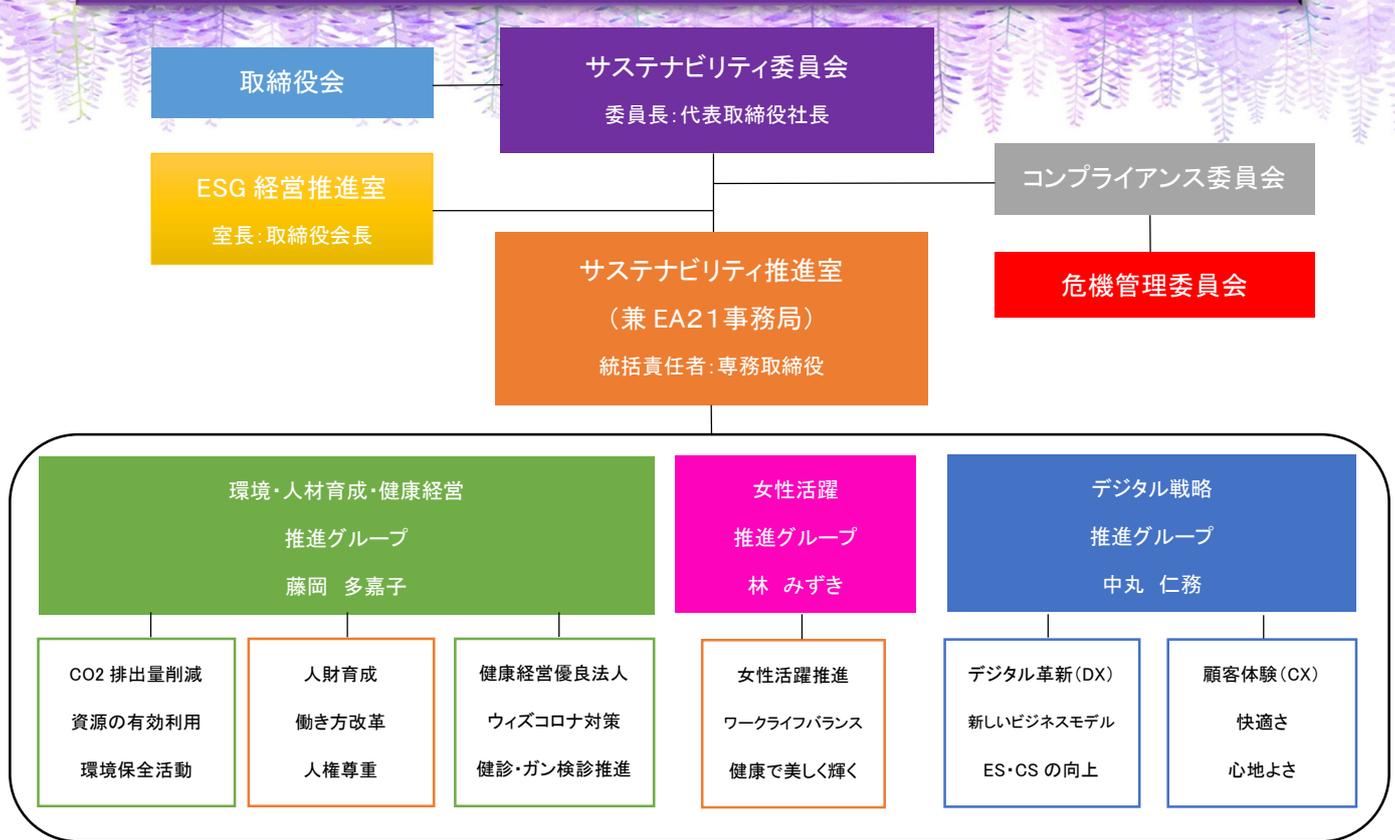


ガバナンスの強化で 「健全な経営基盤」を確立

- ▶ ガバナンス(企業統治)体制の強化
- ▶ コンプライアンス
- ▶ リスクマネジメント
- ▶ 情報セキュリティ(個人情報管理・サイバー対策)
- ▶ マネーロンダリングや不正請求防止



6. サステナビリティ推進体制ならびに責任と権限



● 代表取締役社長 藤岡 徹也

(サステナビリティ委員会 委員長)

(コンプライアンス委員長)

(危機管理委員長)

- ▶ SDGs 企画推進統括
- ▶ 環境経営レポートの策定・編集・評価
- ▶ ESG 経営の運営責任
- ▶ コンプライアンス推進統括責任者

▶ 事業継続力強化計画(BCP)の策定

- ▶ 「デコ活」統括責任者
- ▶ 地域コミュニティと社会貢献(KP)
- ▶ エコ・ファースト統括責任者

● 専務取締役 藤岡 多嘉子

(サステナビリティ推進室 責任者)

(兼エコアクション21 事務局)

(環境・人材育成・健康経営推進リーダー)

- ▶ EA21 取り組みの統括と KP 任命
- ▶ 環境経営全体の集計・点検・見直し
- ▶ EA21ミーティングの計画と実施

- ▶ 一般廃棄物排出量の削減(KP)
- ▶ エシカル消費の推進(KP)
- ▶ エコ・ファースト担当窓口

● 課長 中丸 仁務

(デジタル戦略推進リーダー)

- ▶ (2)ガソリン使用量の削減(KP)
- ▶ (3)複合機印刷枚数の削減(KP)
- ▶ (7)デジタル革新(DX)の推進(KP)

● 林 みずき

(女性活躍推進リーダー)

- ▶ (1)電力使用量の削減(KP)
- ▶ (9)地域コミュニティと社会貢献(SUB)

● 佐伯 愛香

- ▶ (5)水使用量の削減(KP)

● マネージャー 藤岡 富江

- ▶ (6)エシカル消費の推進(SUB)

- ▶ (8)「花」と「緑」で環境美化(SUB)

● 取締役会長 藤岡 忠

(ESG 経営推進室 室長)

- ▶ (8)「花」と「緑」で環境美化(KP)

- ▶ (9)地域コミュニティと社会貢献(SUB)

7. ESG 経営の取り組み

(E) 環境 Environment

【エコアクション21と環境負荷の低減への取り組み】

(1)CO₂排出量の削減（電気・一般廃棄物・ガソリン・水・紙）！

①「電力使用量の削減」



- ・照明の LED化・二重サッシで省エネ対策を実施
- ・クールビズ・ウォームビズの推進
- ・早朝、昼休み、会議・研修等の不要な照明の消灯に努める
- ・外出時や昼休み等の離席の際は、PC の画面を閉じて省エネモードに
- ・冷暖房(エアコン)を適切な温度設定で使用する
- ・カーポートソーラー設置



②「一般廃棄物削減およびリサイクル推進」



- ・分別方法の徹底(可燃ごみ/リサイクルプラ/ペットボトル/資源ごみ等)
- ・廃棄物の測定と集計報告
- ・紙類、段ボール・スチール缶のリサイクル徹底
- ・ハンカチ、MY 箸、MY スプーンの持参
- ・事務用品の在庫管理を徹底
- ・帳票過剰請求をしない



③「ガソリン燃料の削減」



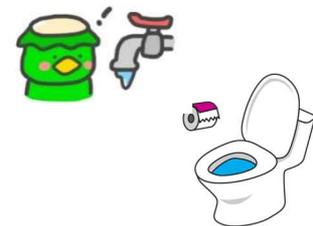
- ・安全運転(急発進/急停車をしない等)でルートの効率よいエコドライブの実施
- ・車内冷暖房の不必要時は OFF にする
- ・タイヤ空気圧や不要な荷物の積載チェック
- ・オンライン面談(ZOOM 等)活用で車使用頻度を抑える



④「水使用量の削減」



- ・定期的(毎月)に水道使用量を点検
- ・節水の注意喚起掲示
- ・トイレの流すボタンを「ECO 小」で使用
- ・洗車用のホースにストップノズルを取り付ける
- ・台所を常にきれいに心がける



⑤「紙の削減」



- ・コピー使用量の削減徹底(両面・縮小コピーの活用促進)
- ・コピー裏紙を FAX やメモに再利用
- ・デジタル(電子化)推進によるペーパーレス化
- ・不要な会社からの FAX の配信停止



(S) 社会 Social

【地域社会への取り組み】

(1)地域共生社会への貢献

「人と社会が共存共栄」

- ・我々は「愛ありがとう」の精神で、人と社会が支え合えるコミュニティづくりと発展に貢献します。
- ・これかも地域に愛され存在し続けるために、人・社会・環境と地域社会に貢献していきます。



【社員に対する取り組み】

(2)社員が働きやすい環境づくり

「働き方改革の推進」

- ・従来の仕事にとらわれない、新しい働き方を積極的に推進しています。
- ・デジタル化(DX)によるイノベーションで、業務プロセスの徹底した生産性向上に努めています。
- ・長時間労働や残業に対しては、常態化しないよう会社一体で注意喚起を促しています。
- ・ハラスメント等に関する問題が生じた場合は、迅速かつ敏感に対処し徹底した改善を図っています。



「人材育成」

- ・「昨日よりは少しでも成長できた！」と実感できる企業風土づくりを目指しています。
- ・時にはお互いが愛情をもって厳しさを伝え合える信頼関係の構築に努めています。

「女性の活躍推進」

- ・女性が健康で美しく輝ける職場環境と構築を目指しています。
- ・子育てや親の介護でも仕事を続けていける仕組みづくりに努めています。

【健康経営への取り組み】

(3)幸せ！「健康経営宣言」

「健康経営優良法人」認定

- ・2023年から2年連続で「健康優良法人(中小規模法人部門)」の認定を取得しています。



「定期健診の実施」

- ・定期健診はもちろんのこと、がん検診の定期的な受診を促しました。
- ・年1回の歯科検診(歯石除去)受診を推奨するため、会社にて治療費の補助を行っています。

「メンタルヘルス不調の防止」

- ・社員の「こころの健康」を大切に、メンタルヘルスの予防および早期発見ができるよう働きかけています。
- ・社員のストレス軽減と癒し効果のために、癒し系ロボット(LOVOT)を導入。

(G) 企業統治 Governance

【ガバナンスの取り組み】

(1)コンプライアンスの遵守



「コンプライアンスの徹底」

当社は、法令・企業倫理を遵守し企業の社会的責任を果たしていくため、保険代理店としてあらゆる事業活動の局面においてもお客様からの「信頼」を第一に、コンプライアンス遵守の徹底に努めています。

「マニュアルの策定・研修の実施」

- ・当社は、コンプライアンスを徹底するための「行動規範」や「各種方針・社内規定」を定めたコンプライアンス・マニュアルを策定しています。
- ・社内での周知・定着を図るため、毎月1回コンプライアンス研修を実施しています。

「コンプライアンス体制」

- ・コンプライアンスや法令違反に関する対応を審議・検討を行っています。
- ・最高責任者に代表取締役を配置した「コンプライアンス委員会」を設置しています。

(2)情報セキュリティ・サイバーセキュリティ対策



「情報セキュリティ」

- ・当社は、情報セキュリティに関わる意識や取り組みを、組織内に徹底しています
- ・情報セキュリティに「事故は起こるもの」との前提に立ち、対策の自律的・継続的な推進を図っています。
- ・独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が推奨する「セキュリティアクション対策の自己宣言(2つ星)」を宣言しています。

「サイバーセキュリティ」

- ・サイバーセキュリティ対策として、提携する外部業者 (RICOH) と連携し、不正アクセスやウイルス等の検知・防御の仕組みを複合的に組み合わせ、随時対策を行っています。

(3)情報開示



「情報開示の基本方針」

- ・当社は、お客様に対する公平かつ重要とされる情報を適時・適切に情報を開示します。
- ・弊社は、金融庁が公表する「顧客本位の業務運営に関する原則」にかかる【金融事業者リスト】に掲載を認定された保険代理店です。なお、情報開示方法は、ホームページにて公表しています。

(4)リスク・危機管理



「リスク管理」

- ・当社が抱える様々な各種リスクの影響を事前に洗い出し、これらのリスクをできるだけ低減させるための対策を検討し、経営の健全性に繋げています。
- ・リスクの発見時には、迅速かつ適切な対応がとれる危機管理体制を構築しています。

「事業継続力強化」

- ・危機発生時 (大規模災害/パンデミック等) でも業務が継続できるための「事業継続力強化計画 (BCP)」の策定・運用・見直しを実施しています。
- ・駐車場に自家消費型ソーラーカーポート (太陽光発電) を設置して、停電時の際での非常用電源としての活用を整備しています。

8. 中期3カ年環境経営目標と長期計画

《期間2023年度～2025年度(3か年)》

区分	環境経営目標	単位	基準値	中期環境経営目標			長期計画			
			2020 (基準年度)	【2023】 (目標)	【2024】 (目標)	【2025】 (目標)	【2030】 (Vision)			
	二酸化炭素の排出量 (①電力・②ガソリン)	kg-CO ₂	9,803	9,043 (7.7%削減)	7,349 (25.0%削減)	6,885 (29.7%削減)	5,366 (45.2%削減)			
電力	電力使用量の削減 <small>「中国電力株式会社」 R2 調整後排出係数を使用</small>	kwh	5,335	5,175	中国電力(購入) 2,453 太陽光発電(自家消費) 3,828	中国電力(購入) 2,300 太陽光発電(自家消費) 3,828	グリーン電力(購入) 2,300 太陽光発電(自家消費) 4,000			
		排出係数	0.521	0.552	0.552	0	0.552	0	0	0
		kg-CO ₂	2,779	2,856 (2.7%増加)	1,354 (51.2%削減)	0	1,269 (54.3%削減)	0	0	0 (100%削減)
ガソリン	ガソリン使用量の削減	L	3,028	2,667	2,584	2,421	2,313			
		排出係数	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32			
		kg-CO ₂	7,024	6,187 (11.9%削減)	5,995 (14.6%削減)	5,616 (20.0%削減)	5,366 (30%削減)			
コピー用紙	複合機印刷枚数の削減	枚	18,362	14,689 (20%削減)	11,017 (40%削減)	10,099 (45%削減)	9,181 (50%削減)			
廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg	240	120 (50%削減)	96 (60%削減)	84 (65%削減)	72 (70%削減)			
水	水使用量の削減	m ³	53	45 (15%削減)	40 (24%削減)	38 (28%削減)	35 (33%削減)			
エシカル消費	グリーン商品購入の推進	%	30.0	60.0 (200%向上)	65.0 (218%向上)	70.0 (233%向上)	100.0 (333%向上)			
デジタル推進	デジタル手続き率 (東京海上日動)	%	47.3	70.9 (150%向上)	82.7 (175%向上)	85.0 (179%向上)	94.6 (200%向上)			
	Web証券率 (東京海上日動)	%	58.3	77.0 (132%向上)	77.5 (132%向上)	78.0 (133%向上)	87.4 (150%向上)			



注: 電力と燃料の使用量削減に注力し、「グリーン電力(CO₂排出も小さい)を推進し「燃料から電化」「自らグリーン電力を作り、使用」も視野にいれているため小売電気事業者の電力購入年度(または公表直近の)CO₂調整後排出係数を用いた。

9. 2023年度 環境経営活動計画

《期間2023年4月～2024年3月》

環境経営目標	活動計画	担当
電力使用量の削減 	① 不要な照明消灯で節電 ③ 離席時は PC 画面を閉じる ⑤ クールビズ・ウォームビズの推進 ② 省エネ設備にリニューアル ④ エアコンを適切な温度設定で使用	林
ガソリン使用量の削減 	① 安全運転(無事故・無違反) ③ リモートを活用して車の使用頻度を削減 ② ECOドライブ10のすすめ ④ 太陽光発電による EV 車の活用	中丸
複合機印刷枚数の削減 	① 「両面2in1」印刷で無駄を削減 ③ デジタル申込手続きでペーパーレス ② 裏紙は「メモ用紙」等に ④ 電子マニュアルの活用推進	中丸
一般廃棄物排出量の削減 	① ごみの分別種類を正しく理解 ③ 帳票(パンフ・チラシ類)の過剰請求に注意 ② 各自のごみ箱を撤去 ④ MY 箸・MY スプーンを持参	専務
水使用量の削減 	① 節水アクションで省エネ(節電) ③ 食器はまとめて・油污れは付け洗いで節水 ⑤ ストップノズルに付替えて節水 ② トイレは「きれい」に！洗浄は「ECO 小」で節水 ④ シンクを「ピカピカ」にして節水	林
エシカル消費の推進 	① エシカル消費への理解を深める ③ 「てまえどり」で食品ロスに貢献 ⑤ オーガニックと地産地消でエシカル消費 ② 認証ラベル付きの商品を選択！ ④ 消耗品はグリーン購入で！	専務
デジタル(DX)の推進 	① デジタルで「働きがい」と「生産性」を高める ③ WEB 証券化率(専業)全国1位 ② オンライン面談手続きの推進 ④ 電子署名手続きの推進	中丸
「花」と「緑」の環境美化 	① 「グリーンアメニティ効果」で生産性向上 ③ 「ごみステーション」の場所を無償提供 ② 花壇に草花を植えて周辺地域を環境美化	会長
社会貢献活動 	① 障害者施設への資源ごみ提供 ③ 鎮守の森のプロジェクトへの支援活動 ⑤ 野鳥かんさつ会の開催 ② 清掃(ゴミ拾い)活動！ ④ 植林活動などへの参加	社長



10. 2023年度 環境経営目標と実績・結果

《期間2023年4月～2024年3月》

区分	環境取組項目	単位	基準値	目標値	実績値			結果	
			【2020年度】 (基準年度)	【2023年度】 (目標)	【2023年度】 (実績)			結果	達成率 (目標値比)
	二酸化炭素の排出量 (①電力・②ガソリン)	kg-CO ₂	9,803	9,043	8,846			○	102.2%
 電力	電力使用量の削減 <small>「中国電力株式会社」 R2 調整後排出係数を使用」</small>	kwh	5,335	5,175	中国電力 (購入) 4,166	太陽光発電 (自家消費) 1,116	EV 充電 (外部充電) 999	○	100.1%
		排出係数	0.521	0.552	0.552	0	0.552		
		kg-CO ₂	2,779	2,856	2,300	0	551		
 ガソリン	ガソリン使用量の削減	L	3,028	2,667	2,584			○	103.2%
		排出係数	2.32	2.32	2.32				
		kg-CO ₂	7,024	6,187	5,995				
 コピー用紙	複合機印刷枚数の削減	枚	18,362	14,689	11,482			○	127.9%
 廃棄物	一般廃棄物排出量の削減	kg	240	120	94			○	127.6%
 水	水使用量の削減	m ³	53	45	38			○	118.4%
 エシカル消費	グリーン商品購入の推進	%	30.0	60.0	62.5			○	104.1%
 デジタル推進	デジタル手続き率 (東京海上日動)	%	47.3	70.9	82.5			○	116.3%
	Web 証券 (東京海上日動)	%	58.3	77.0	76.8			△	99.7%

～2023年度「課題と目標計画」～

2023年度は、コロナの影響も落ち着きつつなる中で、営業活動による車の使用頻度が増加する事が予想されるため、より燃費向上を意識した運転を心がけるよう徹底した。また、電力使用量削減のため、エアコンの稼働期間や時間について、必要最低限範囲で稼働するよう徹底した。その他、DX 推進を加速させる業務フローを社員全員で確認し、ペーパーレス化のさらなる向上を図ることとした。

～2023年度「取組実績と評価」～

2023年秋に新たに設置した「自家消費型ソーラーカーポート」の導入効果により、電力・ガソリン使用による CO₂排出量を大幅に削減できた。また、一般廃棄物や印刷物も、社員一人一人が環境への高い意識で取り組みを継続したおかげで、年間目標を達成することができた。その他、ペーパーレス化への推進につながる「WEB 証券率」が僅かに目標数値に届かなかったものの、「全国1位」は死守できた。

11. 2023年度 活動報告と今後の取り組み



(1) 電力使用量の削減



電力使用量 kwh



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① 不要な照明消灯で節電！	○	始業時間前(9時)・終了後(18時)の時間帯は、入口の照明を消灯。昼食時は、全ての照明を消灯し徹底した照明節電に努めました。
② 人感センサー付き照明の活用！	○	トイレと倉庫の照明を人感センサー付 LED 照明にしたおかげで、消し忘れによる無駄な電力使用の防止が図れています。
③ 離席時は PC 画面を閉じる！	○	以前は離席の際でも PC が閉じられていないケースが目立っていましたが、少しずつ意識が浸透しました。個人情報管理の点からも、個々意識をもっと高め取り組みを継続していきます。
④ エアコン稼働時間の管理を徹底！	○	感染症対策の一環で、夏・冬でも常時換気を徹底しながらの取り組みとなり、環境省が推奨する室温基準同等設定とはいきませんでした。稼働期間や使用時間をできるだけ抑える努力を継続しました。
⑤ クールビズ・ウォームビズの推進！	○	当社は、約15年前よりクールビズを積極的に導入しています。今では過ごしやすい服装の企業風土が浸透しており、全員が働きやすく過ごしやすい服装を工夫して省エネに繋げています。

(2) ガソリン使用量の削減



ガソリン使用量 L



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ

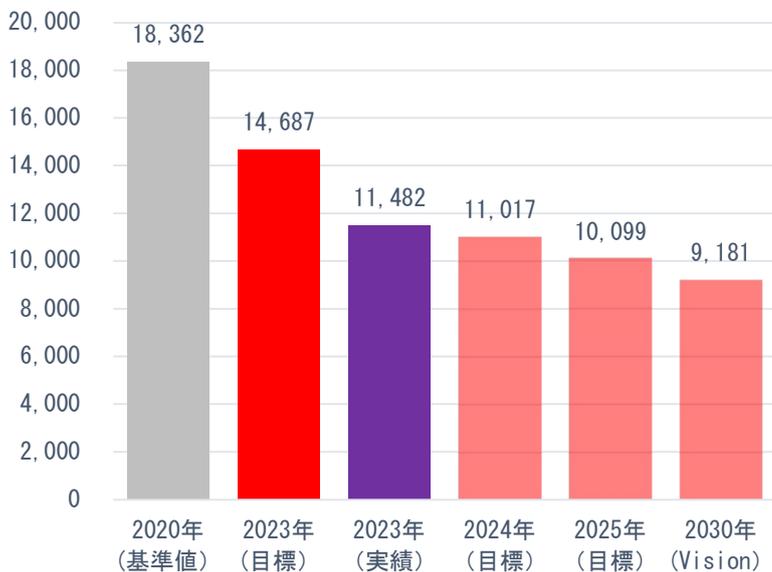


取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①安全運転意識向上の取り組み！ (トライ・ザ・セーフティ in ひろしま)	×	広島県交通安全協会主催の「トライ・ザ・セーフティ in ひろしま」(150日間の無事故・無違反をチーム5人でチャレンジ)に、今年度も社員全員(実費)で参加しました(チーム名: 藤の花)。残念ながら、違反者が1名となりました。
②「ECOドライブ10のすすめ」の実践！	○	今年度も8月会議にて環境省が推奨する「ECOドライブ10のすすめ」の勉強会を実施し(環境省: 動画視聴)、環境にやさしい ECOドライブへの理解と実践を心がけるよう社員全員に促しました。
③オンライン面談で車の使用頻度を抑制！	○	2023年度も、リモートを活用した(ZOOM)ミーティングや商談を積極的に実施しました。車の使用頻度を減らしてガソリン使用量の削減に貢献しました。
④EV車(電気自動車)を導入！	○	2023年10月に設置した太陽光発電設備(ソーラーカーポート)でEV車を充電することにより、1台分のガソリン使用量が削減され、CO ₂ 排出量の削減に貢献。

(3) 複合機印刷枚数の削減



複合機印刷枚数 枚



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①「両面・2in1」印刷で無駄を削減！	○	当社の PC 端末には、集約印刷(両面・2in1)をあらかじめ統一設定しており、無駄なコピー用紙の使用削減に徹底して努めました。
②裏紙は「メモ用紙」として再利用！	○	片面使用済み用紙は専用ボックスに集めて印刷用として再利用しています。裏紙は「メモ用紙」として無駄なく活用しています。
③デジタル手続き率アップで印刷枚数を削減！	○	当社は、お客様との保険申込手続きを、紙を使用しないデジタル端末(PC・タブレット端末)による完全ペーパーレス手続きを積極的に活用。2024年1月からは、電子署名手続きを新たに導入し、さらなるペーパーレス手続きを積極的に推進しています。
④電子マニュアルの活用推進！	○	各種マニュアル(冊子)を棚から全て撤廃し、電子マニュアルの活用を推進しています。

(4) 一般廃棄物排出量の削減



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



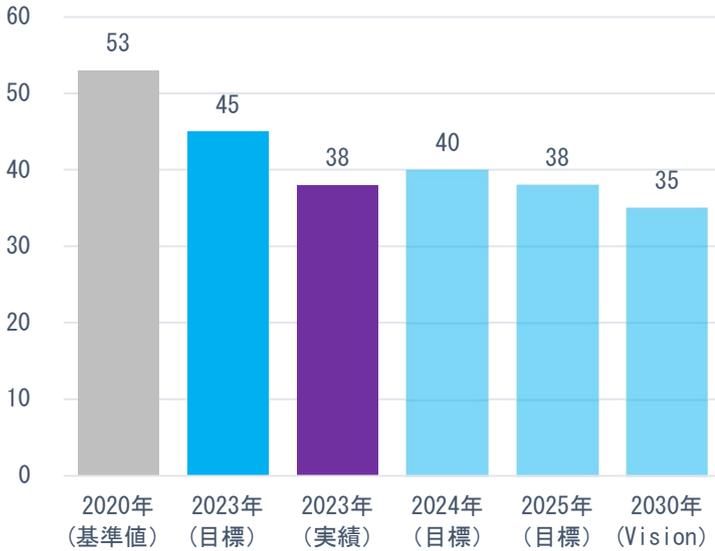
取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①ごみの分別種類を正しく理解！	○	社内で基本的なゴミの分別種類を正しく理解するためのミーティングを実施し、取り組みへの意識とモチベーション向上に繋がりました。
②各自のごみ箱を撤去！	○	各自デスクの足元に置いていた専用ごみ箱を撤去して、新たにコンパクトなごみ箱を社内共有用として設置してからは、年々ゴミの量が削減されており、また備品等の物を大切にする意識も高まりました。
③帳票(パンフ・チラシ類)の過剰請求に注意！	○	これまでは、保険会社からの取り寄せる帳票が過剰請求となり、未使用のまま廃棄されるケースが目立ちましたが、今年度は安易な帳票の過剰請求防止と、在庫管理の徹底に努めた事で、帳票の過剰請求防止に成功しました。



(5) 水使用量の削減



水使用量 m³



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
Cool choice 君野イマ

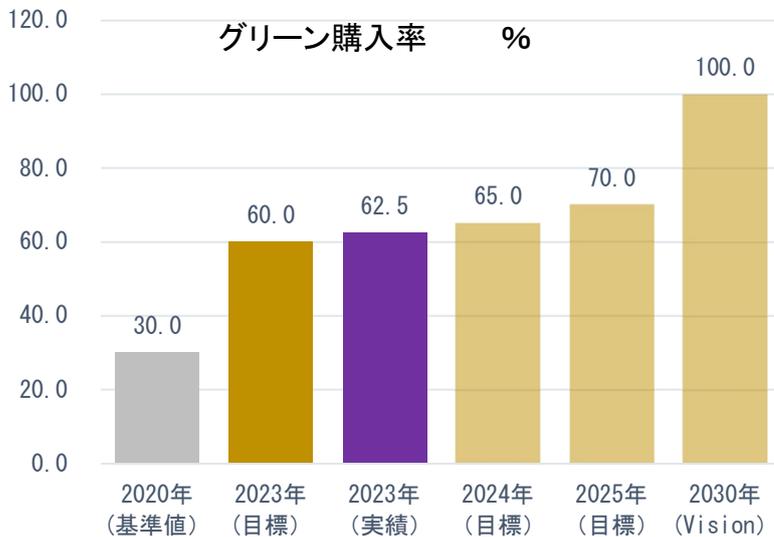
環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
Cool choice 君野ミライ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① 節水アクションの徹底！	○	昨年度は、水使用量削減の取り組みルールがはっきりと定まっていなかったが、水の出っぱなしをしないよう、意識付けを徹底しました。
② トイレは「きれい」に洗浄は「ECO 小」で節水！	○	トイレはいつも「きれいに」、水を流す際は「ECO 小」を使用するよう、あらためてトイレの節水を社内で徹底しました。また、水は2度流しをしない、掃除の時は洗剤を使いすぎない、ウォシュレット温水は冬季限定、トイレトーパーは最小限使用するなど、できることは意識するよう努めています。
③ 蛇口レバーは冷水位置に戻して省エネ！	○	食器は出来るだけまとめて洗いで節水に努め、蛇口レバーは1番右(冷水)に戻すことで温水(ガス)の使用はできるだけ抑えるよう心がけ節水・省エネに取り組みました。



(6) エシカル消費の推進



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

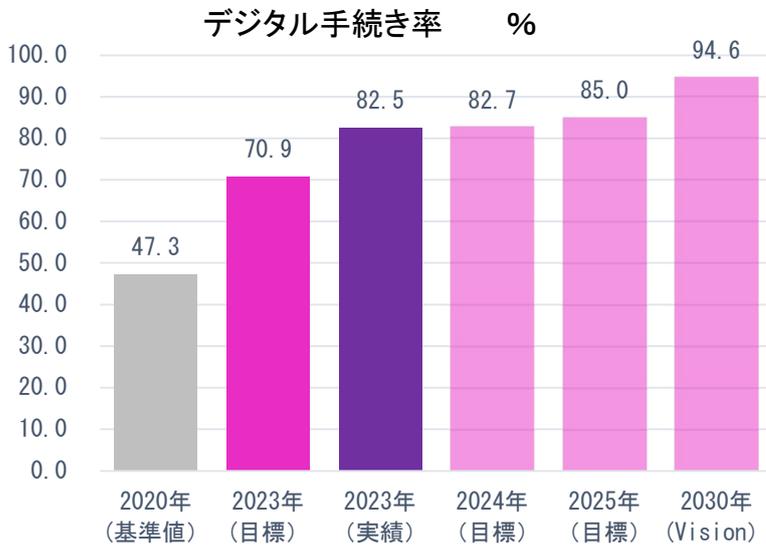
環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① エシカル消費への理解を深める！	○	これからの時代「安い」「便利」というだけで商品を選択するのではなく、私達自身が人・社会・環境に配慮した「エシカル消費」についての理解をもっと深め、取り組みへの周知と行動を広げていく事が、今後の課題であると考えています。
② 認証ラベル付きの商品を選択！	○	エシカル商品を見分ける目安として、認証ラベル付きの商品を優先的に選ぶようにはしていますが、BCP対策としての災害非常用品等は、まだまだエシカル商品が少なく、通常の商品を購入しました。
③ サステナブルファッションの推奨！	○	服装については、全社員に向けてクールビズ・ウォームビズをはじめ、地球環境や関わる人、社会にも配慮したサステナブルファッションを意識した消費行動への実践にも、積極的に推奨しています。
④ 消耗品はグリーン購入で！	○	当社は、事務用品(ボールペン・封筒類・コピー用紙等)や、日用品(トイレトペーパー・洗剤等)などの消耗品を、2030年までにグリーン購入率100%を目指しています。
⑤ オーガニックと地産地消でエシカル消費！	○	来客者用ウェルカムドリンクを「オーガニック・コーヒー」でご提供しています(有機栽培・無農薬)。 その他、販促ノベルティとして、地元で採れた新鮮なお野菜をお客様に差し上げています(地産地消)。



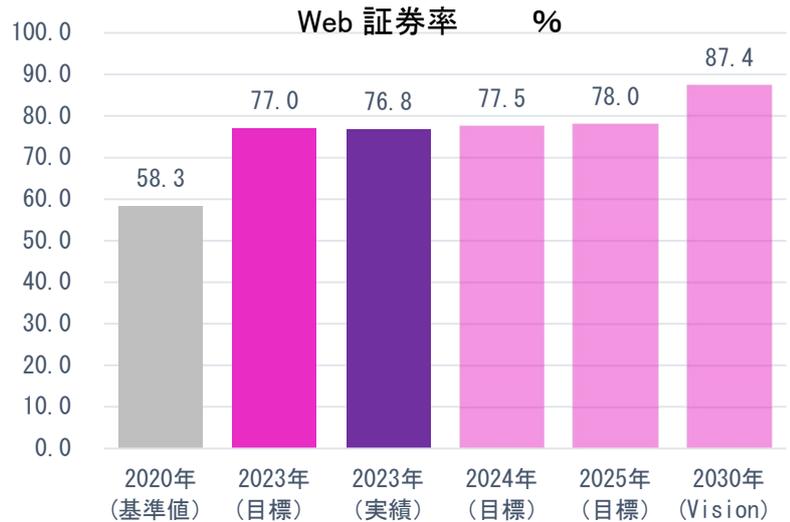
(7) デジタル革新(DX)の推進



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ



取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①電子署名手続きの推進！	○	2022年からのオンライン面談の取り扱いを導入してからは、紙の削減に大きな成果を上げています。さらに、2024年1月からは「電子署名手続き」を新たに取り入れ、完全ペーパーレス化に向けた取り組みを強化しています。
②WEB証券率の全国1位を達成！ (東京海上日動)	○	昨年度に続いて、2023年度も WEB 証券率(東京海上日動:専業)において、全国第1位を達成し、デジタルを活用した紙資源の大幅な削減に貢献しました。

(8)「花」と「緑」で環境美化



環境省COOL CHOICE MOE 萌えキャラクター
君野イマ



環境省COOL CHOICE MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



事務所から見える桜



駐車場に咲く藤の花

取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
①「グリーンアメニティ」効果で生産性向上！	○	心理的なリラックス効果や疲労感の緩和をはじめ、空気浄化効果、温熱環境調整効果など、当社では快適な空間を演出することを目的に、オフィスのインテリアに季節のお花や緑を取り入れて、「植物による癒し効果」で社員の生産性を高めています。
②花壇に草花を植えて周辺地域を環境美化！	○	花壇や玄関前に草花を植えて、周辺地域の環境美化に貢献しています。



グリーンアメニティ効果で
周辺地域と職場に「安らぎ」を..



Fujioaka



(9) 地域コミュニティと社会貢献活動



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ



海岸保全清掃活動(みどりの浜公園)



毎月2回「障害者就労支援施設」へ資源ごみを提供しています

町内会の皆さんにもご協力を頂いています

取組活動計画	成果	活動報告と今後の取り組み
① 障害者就労支援施設に資源ごみを提供！	○	毎月第1・3水曜日には、町内会の方々と協力して、近くの障害者就労支援施設(むぎの家)へ資源ごみ(段ボール・新聞紙・雑誌類・空き缶)を提供し、地域コミュニティ活性化と社会貢献活動に取り組んでいます。
② 清掃(ごみ拾い)活動！	○	会社周辺はいつも綺麗にするように心がけています。また、地元の海を大切にするために、海沿い近く(みずとりの公園付近)の清掃活動を実施しました。
③ 「ごみステーション」の場所を無償提供！	○	当社は、約15年前に駐車場スペースの一部を地域町内会に無償で提供し、景観美化に協力しています。また、ごみステーションは、町内会で資金を募り地域の皆さんと手作りしました。

12. 環境関連法規等の遵守状況と確認・結果

【該当する主な環境関連法規】

適用される法規制	適用される対象品目	対応事項	確認内容	結果	確認日
廃棄物処理法	◇一般廃棄物	委託事業者の点検	委託：富士企業 ISO14001 取得事業者	○	R.6.3.29
		委託契約書の保管	専用ファイルに保管	○	R.6.3.29
		一般廃棄物の適正処理	分別・ゴミ袋適正に処理	○	R.6.3.29
フロン排出抑制法	◇第1種特定空調設備(2台)	簡易点検実施(四半期毎)	簡易点検記録簿に記載	○	R.5.4.7
			なお、廃棄する際は充填回収登録を受けた事業者へ回収依頼書を付けて機器を引き渡し、後日引取証明書をもらわないといけない(法 41 条)	○	R.5.7.7
				○	R.5.10.6
				○	R.6.1.12
		簡易点検記録簿	記録記載・保管状況	○	R.6.3.29
廃棄をする際	充填回収業登録業者に回収依頼書を付けて引き渡し、後日引取証明書をもらう	—	—		
家電リサイクル法	◇冷蔵庫 ◇液晶テレビ ◇エアコン(家庭用)	適正な回収業者への排出・回収運搬・リサイクル処理	対象家電廃棄の有無 2023年度：無	○	R.6.3.29
			回収業者の確認	—	—
小型家電リサイクル法	◇PC 端末 ◇タブレット端末 ◇電話機 ◇携帯電話 ◇掃除機 ◇電子レンジ ◇扇風機 ◇体重計 ◇空気清浄機等	適正な回収業者への排出・回収運搬・リサイクル処理	対象小型家電廃棄の有無 2023年：有 シュレッダー	○	R.6.3.29
			回収業者の確認 業者：武田康孝(回収業)	○	R.6.3.29
自動車リサイクル法	◇社有車	適正な引取業者への引渡し	廃車・譲渡(売却)の有無 2023年度：無	○	R.6.3.29
			引取業者の確認	○	R.6.3.29
消防法	◇火災設備(消火器)	設置場所・使用期限の点検	設置場所：事務所 使用期限：2032年まで	○	R.6.3.29
グリーン購入法	◇環境省：特定調達品目(参照)	環境物品等の調達(購入)	環境物品調達状況の確認	○	R.6.3.29

当社に適用される環境関連法規制等を確認・評価した結果、適正に遵守されており、関係当局からの違反等の指摘や利害関係者からの訴訟もありませんでした。また、法令変更等の有無についての確認も定期的に実施しました。

13. 環境への取り組み

①エコ・ファースト認定企業



■環境大臣認定「エコ・ファースト企業」

【小規模事業者としては全国初】

当社は、環境の分野において、その取組が先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動を行っている企業（業界における環境先進企業）であることを環境大臣が認定する「エコ・ファースト企業」に認定されました。

「エコ・ファースト制度」とは・・・

企業が環境大臣に対し、自からの環境保全に関する取組を約束し、その取組が、先進的、独自のかつ業界をリードする事業活動であることを、環境大臣が認定する制度です。<https://www.env.go.jp/guide/info/eco-first/>



《認定式 / 左: 藤岡徹也(代表) 右: 山田環境副大臣》

■エコ・ファースト認定式「令和5年4月5日(環境省にて)」

令和5年4月5日(水)に環境省内で「エコ・ファースト」認定式(第21回)が行われ、西村環境大臣、山田環境副大臣が出席し、本認定式で藤岡保険を含む12社が新たに「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。これで認定企業は66社となり、藤岡保険は小規模事業者として”全国初”の認定企業となります。



(西村環境大臣 / 和田環境事務次官 / 新規認定12社との集合写真)

環境分野における総合的な取組の先進性を大臣が認定する制度としては国内唯一であり、多くのサステナビリティ経営、環境経営のトップランナーである様々な業界を代表する企業が、環境大臣と環境保全に関する取組の約束を行っています。

※エコ・ファースト推進協議会HP <https://www.eco1st.jp/>



環境大臣認定
エコ・ファースト企業

エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 西村 明宏 殿

令和5年4月5日
有限会社 藤岡保険コンサルタント
代表取締役社長 藤岡 徹也

1 脱炭素社会に向けた「グリーン（GX）×デジタル（DX）」社会の実現を推進します。

🌿 エコアクション21のガイドラインに則った環境経営の実践！

CO₂排出量の削減に向けた5つの項目（電力・一般廃棄物・ガソリン・水・紙）における数値目標を設定し、計画的かつ継続的な実践と改善に取り組みます。結果、CO₂排出量を2030年までに2020年度比で49%削減、2040年まで80%削減、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指します。

🌿 徹底したデジタル革新（DX）を推進し、あらゆる完全ペーパーレス化を実現！

保険のお申込手続きの際に、デジタル手続き（ペーパーレス手続き/オンライン手続き/電子署名手続き等）を積極的に推進し、同時にお客様へ「WEB約款・WEB証券・WEB更新案内」をご選択頂くことで（マイページアプリで閲覧）、紙資源使用量の大幅な削減に貢献し、業界をリードするDX推進企業として、2024年までに、全てのお申込手続きならびに保険金請求手続き時における完全ペーパーレス化の実現を目指します。

🌿 通信機能付きドライブレコーダーでお客様の「安全運転」と「ECO DRIVE」をサポート！

取扱保険会社（東京海上日動）が提供する通信機能付きオリジナルドライブレコーダーをより多くのお客様にご利用頂くことで、お車の「急発進・急停止」「片寄警告」「前方車両接近警告」「居眠り警告」等をリアルタイムで注意喚起することにより、お客様への「安全運転」とふんわりアクセル・ブレーキによる「ECO DRIVE」（10%程度燃費向上）サポートに貢献し、交通事故減少と燃料消費量削減で、国が普及・推進する「エコドライブ10のすすめ」につなげます。

2 防災・減災と再エネを推進し「レジリエンスでエコなまちづくり」に貢献します。

🌿 お客様と共に災害から命を守る森づくりで地球環境保全に貢献！

お客様と共にできる防災・減災・地球環境保全を実現するため、お客様から「WEB証券・WEB更新案内」をご選択頂いたご契約1件につき100円を「公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト」への寄附や植樹活動などの社会貢献活動を通じて、お客様と共に取り組む「災害から命を守る森づくり」と「紙資源使用量の削減」ならびに防災・減災と自然・生物多様性保全に寄与することを目指し、包括的かつレジリエンスでエコなまちづくりに貢献します。

🌿 再生可能エネルギー（自家消費型ソーラーカーポート）の導入！

「再エネ100宣言 RE Action」への参加企業として、グリーン電力の購入と合わせ、2024年までに自家消費型ソーラーカーポート設備を導入し、自社で使用する電力を全て再生可能エネルギー100%で賄うことを目指します。また、災害等による停電時の際には、自家消費型太陽光発電を非常用電力として活用し、事業活動における災害レジリエンスの強化・維持を図ります。その他、2035年までに全ての社有車を電気自動車（EV・PHEV）に順次切り替え、環境にやさしい再エネ100%自家発電による「ゼロカーボン・ドライブ（再エネ100%+EV車）」を実現します。

3 環境経営を実践するための体制整備と社員教育を実施します。

🌿 環境経営システムの構築と計画的な社員教育の実施！

事業活動により発生するCO₂排出量を四半期毎に集計し、CO₂排出量削減に向けたPDCAサイクルを計画的に実施することで、継続的な実践と改善に努めます。また、社員への環境教育の一環として、eco検定の取得推奨や費用援助、環境関連セミナーへの参加促進をはじめ、社会貢献活動（地域の清掃活動や植樹活動などのボランティア等）に自主的に参加しやすい職場環境を整備し、その他地元企業等の社外に向けたSDGs取組事例の講演活動や、小学生を対象とした防災授業と生物多様性への理解向上につながる環境学習の実施など、会社一体で環境経営に対する意識の浸透と実践に取り組みます。

4 SDGs 達成に向けた取り組みの「輪」を広げていきます。

🌿 SDGs 達成に向けた取り組みとステークホルダーへの情報発信を実践！

環境省が提唱する「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」ならびに「COOL CHOICE」の取り組みに賛同し、この運動をもっと大きなものにするためにも、全てのステークホルダーに向けての積極的な情報発信（環境経営レポート・ホームページ・公式SNS・会社PV動画等）を通じて、みらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会の実現につながる「橋渡し役」として、SDGs達成に向けた取り組みへの「輪」を広げていきます。



②海岸林の植林活動(東北復興ボランティア)



■「わたりグリーンプロジェクト」in 宮城

東京海上日動主催の東北復興ボランティア「わたりグリーンベルトプロジェクト」に参加。

東日本大震災での大津波によって、約120haあった亙理町の海岸林は壊滅的被害を受けましたが、地元住民から「失われえた海岸林を取りもどしたい！」との声で、2015年「NPO法人 わたりグリーンベルトプロジェクト」が設立され、これまで4万4千本以上の苗木が植えられています。

<https://watari-grb.org/>



わたりグリーンプロジェクト参加者皆さんと集合写真！



ひろしまエコ事業所認定

③「ひろしまエコ事業所」認定



■保険代理業初「ひろしまエコ事業所」

令和4年より広島市環境局地球温暖化対策課より「ひろしまエコ事業所」の認定を受けています。

広島市では、省エネルギー対策などに積極的に取り組んでいる事業所を「ひろしまエコ事業所」として認定することによって、中小企業の環境への取り組みを支援しています。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/88/13606.html>

④社員への環境教育



■eco 検定の取得推奨と費用補助

社員への環境教育一環として、eco 検定の取得推奨や費用援助、環境関連セミナーへの参加促進を実施しました。

今後は、社会貢献活動などにも自主的に参加しやすい職場環境を整備するなど、会社一体で環境保全に対する意識の浸透と、主体的な活動の実践に取り組んでいきます。

<https://kentei.tokyo-cci.or.jp/eco/>



2名が eco 検定を取得！

⑤再エネ100%への取り組み

■「再エネ100宣言 RE Action」加盟



弊社は RE100 の中小企業版との位置づけである『再エネ100宣言 RE Action』に加盟しています。

「再エネ100宣言 RE Action」とは・・・

中小企業等が使用電力を100%再生可能エネルギーに転換することへの意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する新たな枠組みです。 <https://saiene.jp/>

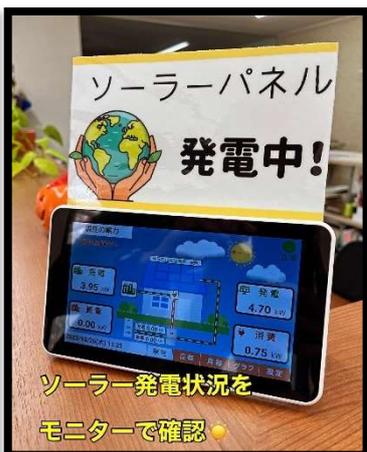


■自家消費型ソーラーカーポートを導入

令和5年10月には、自社で使用する電力をすべて再生可能エネルギー100%で賄う事を実現するため、自社駐車場に自家消費型ソーラーカーポートを導入しました。屋根が太陽光パネル一体型で両面での発電が対応する国内では導入実績の少ない次世代型ソーラーカーポートとなっており、自社で使用する電力の約80%を自社発電による再生可能エネルギー（太陽光発電）で賄う予定。

■ゼロ・カーボン・ドライブの実現

ソーラーカーポートの設置と合わせて、EV専用充電設備も導入。これにより、保有するEV車(1台)を自家発電による太陽光発電で充電が可能となりました。当社は、2035年までに社有車を全てEV車・PHEVに順次切り替え、環境省が推進する再エネ100%自家発電による「ゼロカーボン・ドライブ(再エネ+EV車)」の実現を目指しています。



太陽光パネル両面一体型「ソーラーカーポート」を設置

自家発電による再エネで「ゼロ・カーボン・ドライブ」を実現

⑥グリーンボンド(ESG投資)



■広島県環境債グリーンボンドへの投資

当社は、2023年2月に広島県が「2050ネット・ゼロカーボン」の実現に向けた取組の一環として発行したグリーンボンド(環境債)の投資を行いました。

「グリーンボンド」とは・・・

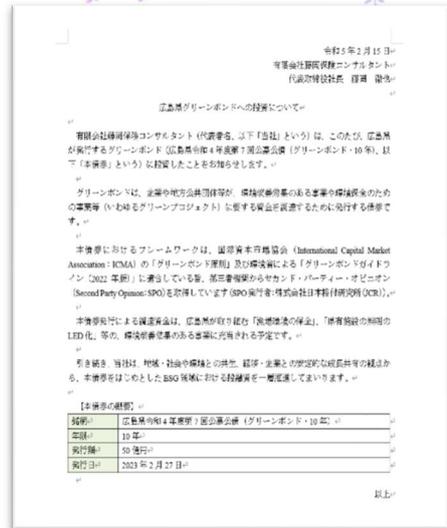
企業や地方公共団体等が、環境改善効果のある事業や環境保全のための事業等(いわゆるグリーンプロジェクト)に要する資金を調達するために発行する債券です。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kennseitakarakuji/greenbond.html>

■「広島県」と「グリーンボンド環境保全活動に係る連携協定」を締結

広島県が全国で初めてグリーンボンドを購入した企業に、県が管理する公園施設等で環境保全活動を支援するメニューを付与する対象企業に、弊社を含む3社がコンペで選ばれ、地元「みずとりの浜公園」の一部のネーミング権と、子ども達と野鳥観察会や清掃活動などの環境保全活動に取り組む連携協定を締結しました。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kennseitakarakuji/050822gbkyoutei.html>



令和5年8月22日 協定締結式

《左: 藤岡徹也(弊社代表) 右: 湯崎知事(広島県)》



愛称ネーミング: 海岸保全活動エリア

《藤岡保険みずとりの浜シーサイドエリア》

⑦ 海岸保全活動(野鳥観察会)



■ 野鳥観察会(環境学習イベント)の開催

令和6年1月24日には、生物多様性保全の一環で、弊社が主催した「親子で学ぼう！野鳥かんさつ会」を開催しました。

(年中～小4までの親子10組が参加)



親子で学ぼう
みずとりの浜
野鳥
かんさつ会
2024

1 20(土) 10:30～12:00 (雨天決行)
先着!! 年中～小学4年生までの親子10組さま
※保護者様1人につきお子様3人まで

みずとりの浜公園
(藤岡保険みずとりの浜シーサイドエリア)

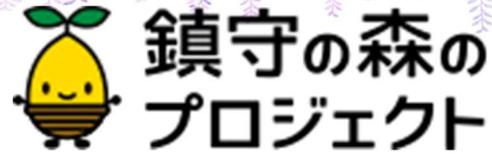
- ・野鳥の会による野鳥観察学習
- ・親子で体験♪環境実験
- ・公園清掃

みずとりの浜野鳥かんさつ会事務局：082-928-8371
(主催) Fujitoka (協賛) 藤岡保険みずとりの浜シーサイドエリア

多様な環境に生息する野鳥は自然環境の状態を教えてくれるバロメーターです。近年では、野鳥が生息する干潟も少なくなる中で、この海岸には毎年秋から冬の寒い時期になると、その名の通り多くの渡り鳥(水鳥)が集まってきます。当日は、野鳥の会広島支部の方にご協力頂き、みずとりの浜公園の水鳥を観察しました。子ども達の笑顔も沢山みれて、社内の雰囲気や一体感もより高まりました。



⑧災害から命を守る活動



■鎮守の森のプロジェクトへの支援活動

当社は100年先の未来世代が変わらず「安心」・「安全」で暮らせるサステナブルな地球環境を守るために、「公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト」への寄付を通じて、当該プロジェクトの継続的な発展と、防災・減災と生物多様性への取り組みに貢献しています。<https://morinoproject.com/>



③SDGsに合致したプロジェクト！

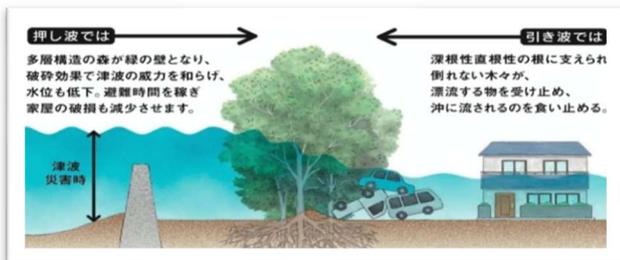
災害から命や財産を守る森づくりは、防災・減災はじめ生物多様性への支援活動にもつながり、保険事業のサステナビリティにも貢献するSDGsに合致した取り組みです。

①「災害から命を守る森づくり」

昔から森林は大火による被害を食い止め、防災林として大きな役割を果たしてきました。その森は、かつて神社を囲むように存在した「鎮守の森」であり、たくさんの動植物の命を育み、地域と暮らしを守る存在でした。このプロジェクトでは、東日本大震災で被災した地域などで沿岸部を中心に盛土築き、常用広葉樹のポット苗を植樹し「いのちを守る森」を築いていく活動です。

②「鎮守の森のプロジェクト」4つの利点！

- ①沿岸部で防波堤として津波の威力を弱め漂流物を食い止める
- ②水分を含む常緑広葉樹は火災時の延焼を防ぐ
- ③台風・豪雨災害時でも防風林や土留め効果として活躍
- ④温室効果ガスであるCO₂を吸収し温暖化対策に貢献

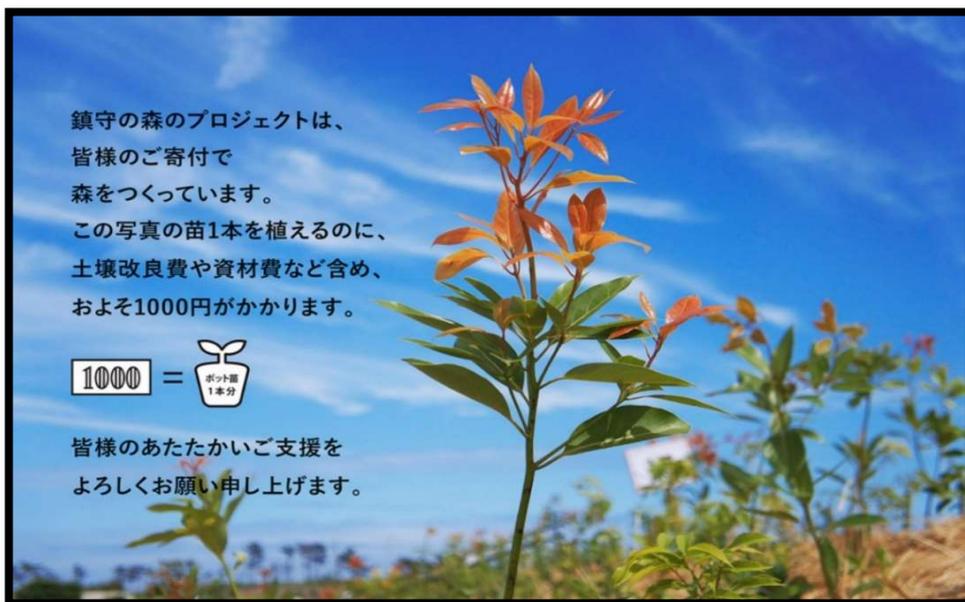




■【ワン・コイン・ドネーション(OCD)】

東京海上日動 WEB 証券1件につき  円を寄附

「お客様とともに防災・減災・地球環境保全に貢献したい」を実現するため、WEB証券をご選択頂いた契約1件(新規・更新)につき100円を「公益財団法人 鎮守の森のプロジェクト」に寄附する、2021年から取り組みを開始した当社独自の社会貢献活動です。



2023年 寄付金額38,000円 
今年も「ポット苗木38本分相当」をみらい世代へ届けました



《2023年度 WEB証券件数767件》

★鎮守の森のプロジェクト 38,000円

★能登半島地震支援金 38,000円

なお、今年度は当該寄附先と合わせて、寄付金のうち半分を(WEB証券1件につき50円)2024年1月1日に発生した能登半島地震への被災者へ、支援金として寄附しました。

⑨お客様の「エコドライブ」をサポート



■通信付きドライブレコーダー(DAP)の推進

「ドライブエージェント パーソナル(DAP)」とは・・・
東京海上日動が貸与する通信機能付きオリジナルドライブレコーダーを活用したテレマティクスサービスです。

もしもの事故時はもちろん、いつもの運転時も、多様なサービスでお客様に「安心・安全」をお届けします。

当社は、広島支店(東京海上日動)において、6年連続DAP付帯率第1位を達成しました。



■「事故防止支援サービス機能」でエコドライブをサポート

東京海上日動の通信機能付きドライブレコーダー(DAP)には、事故防止支援サービス機能も搭載されており、お客様の安全運転とエコドライブをサポートします。

①危険地点接近警告(1カメラ型のみ)

運転中の天候や時間帯および運転状況をもとに危険地点を予測し、リアルタイムで注意喚起を実施します。

②片寄警告&前方車両接近警告

車線片寄り・はみ出し時や前方車両の接近を検知した際に、運転者へ注意喚起を行います。

③わき見・居眠り警告(2カメラ一体型のみ)

運転中のわき見や居眠りを検知した際に、音声メッセージと画面表示により警告します。

④運転特性データを収集・安全運転診断を実施

収集した運転データを基に作成された「安全運転診断レポート」を紙媒体または専用アプリからご確認頂けます。

⑩「みんな de グリーンイノベーション」 by 東京海上日動

■お客様と共にペーパーレス化で環境保護

東京海上日動では、「お客様とともに環境保護を行うこと」をコンセプトに、2022年1月より「みんなdeグリーンイノベーション」をスタートさせ、ご契約手続きや保険金お支払いの際のなどにおけるペーパーレスを積極的に推進しています。

<https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/sustainability/gi/>



■「超保険20周年記念コンテスト」 ☆☆全国第1位達成☆☆

東京海上日動の主力商品である超保険発売が20周年を迎えたことに合わせ、お客様との申込をデジタル手続き&お客様に送付する保険証券をデジタル化することを推進して、紙資源の削減により地球環境保全に貢献するキャンペーンとして実施された「超保険20周年記念コンテスト」で、弊社は全国1位を達成しました。



⑪「森林保全活動」への参加



森林保全活動の一環として、「東京海上日動 未来への森」高知県安芸市間伐体験ツアーに参加しました。(令和5年11月11日)



from 東京海上日動 担当者さんのコメント

2023年度の開幕と同時に、藤岡保険コンサルタントさんは「エコ・ファースト企業」に認定されました。弊社のデジタル手続き、WEB証券の推進は、お客様の利便性向上を目的としていますが、地球環境保全の観点でDX推進によるペーパーレスで紙資源の削減に清鋭的に取り組まれている姿を、我々メンバーも感化され、東京海上日動広島支店では、デジタル課の推進と共に「緑の募金」活動を企画して、2023年度は多くの代理店さんと共にSDGsに繋がる取り組みを展開させて頂きました。また、藤岡保険コンサルタントさんには「海岸林再生ボランティア」や「東京海上日動未来への森」間伐体験ツアーなど、弊社の取組にも積極的かつ継続的にご支援を頂き、大変感謝しております。

東京海上日動火災保険 株式会社
広島支店 担当 松井美幸さん



12「平和折り鶴再生紙」名刺



弊社は、広島市の「折り鶴に託された思いを昇華させるための取組」に賛同し、平和記念公園の折り鶴を「平和折り鶴再生紙」として再利用した名刺を制作しました。

世界中から届いた折り鶴を、広島市の作業所にて分別した後、再生紙に加工し断裁・印刷を行い、新たに平和折り鶴再生紙の名刺として再生させました。これにより、平和への想いと紙資源（折り鶴）の再利用に貢献しています。

《広島市公認》 平和折り鶴再生紙ロゴマーク



13「同友エコ奨励賞」受賞



■中小企業家同友会「同友エコ奨励賞」

中小企業家同友会全国協議会が実施した「環境経営の実践アンケート」で、全国の1512社の中から2022-2023年「同友エコ奨励賞」に選ばれました。



14「デコ活宣言」登録企業



■新国民運動官民連携協議会への参画

弊社は、令和5年10月に環境省が「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現」に向けた官民が連携する新たなプラットフォームである、「新国民運動官民連携協議会」に参画した「デコ活宣言」登録企業です。





COOL CHOICE

昼休みは
スイッチオフ!

COOL CHOICE

席を外すときは
省エネモードに!

COOL CHOICE

オフィスのゴミを
きちんとリサイクル!

地球温暖化対策のための国民運動
「COOL CHOICE (=賢い選択)」

2015年、すべての国が参加する形で、2020年以降の
温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。
世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を
2度未満にする（さらに、1.5度以内とする努力をする）こと、
今世紀後半に温室効果ガスの排出を
実質ゼロにすることが打ち出されました。
日本は、2030年に向けて、温室効果ガス排出量を
26%削減 (net-zero) する目標を掲げています。
「COOL CHOICE」は、この目標達成のために、
省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、
温暖化対策に資する、
あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。

身近な生活のなかで、未来のために、
いま選択できるアクションを選ぶ。
あなたも、ぜひ「COOL CHOICE」に参加してください。

COOL CHOICE

未来のために、いま選ぼう。

ぜひ「COOL CHOICE」に、ご賛同をお願いします。
詳しくは「COOL CHOICE」公式HPへ!!

環境省 [クールチョイス](#) [検索](#)

COOL CHOICE

裏紙は
メモ用紙に!

COOL CHOICE

両面・2in1印刷で!

COOL CHOICE

エコペーパーを
使用しています。

COOLBIZ

WARMBIZ



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野イマ

身近な生活の中にある...
「COOL CHOICE」ってなに?
賢い選択?

日々の積み重ねが大切なもの!

ワタシにもできることあるかな?

COOL CHOICE
賢い選択

私たちの「身近な選択」が、
地球温暖化対策につながります。

「COOL CHOICE」とは、2030年度に温室効果ガスの排出量を
2013年度比で26%削減するという目標達成のため、低炭素型の
製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、
地球温暖化対策に資する「賢い選択」をして脱炭素社会を
目指していこうという取組のことです。

環境省 [クールチョイス](#) [検索](#)

COOL CHOICE eco
チョイス! エコカー



環境省COOL CHOICE
MOE 萌えキャラクター
君野ミライ

～「COOL CHOICE」宣言～

政府は、2021年4月22日の地球温暖化対策本部会議の中で、当時の菅総理は「2030年までに国内の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することを目指す」と宣言されました。当社は、中期3カ年環境経営目標に則って、2021年11月に環境省が地球温暖化対策のための国民運動として呼びかける「COOL CHOICE」への取り組みに賛同することで、あらためて社員一人一人がSDGs13「気候変動に具体的な対策」に関わる取り組みへの決意を新たにいたしました。

我々は、この「COOL CHOICE」運動をもっと大きなものにするために、「ゼロカーボンアクション30」などの取り組みを通じて、ステークホルダーに向けて積極的な情報発信を実施していきます。そして、一人でも多くの方々に地球温暖化問題に関心を持って頂ける「橋渡し役」として、今後もこの取り組みへの「輪」を広げる活動を継続的に実施して参ります。



COOL CHOICE 賛同証明書

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (=賢い選択)」にご賛同いただいておりますことをここに証明いたします。

企業・団体名

有限会社 藤岡保険コンサルタント

ご賛同日

2021/11/11

COOL CHOICE事務局

発行日：2022/01/28



14. SDGs の取り組み

① 「健康経営」の取り組み



■健康経営優良法人2024認定

弊社は、2023年度より経済産業省「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」認定を取得しています。



■「ひろしま企業健康宣言」健康づくり優良事業所

全国健康保険協会広島支部からは、令和5年8月に「ひろしま企業健康宣言健康づくり優良事業所」として最高評価(5つ星★★★★★)の認定を受けました。



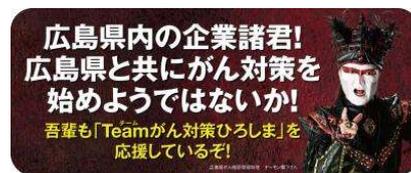
ひろしま企業健康宣言
健康づくり優良事業所

■「Team がん対策ひろしま」登録企業

広島県と共に「地域の皆様と社員の“いのち”を守る企業」として、がん対策に積極的に取り組む登録企業に対し、その取り組みをバックアップする広島県発のチーム《Team がん対策ひろしま》に登録しました。



Teamがん対策ひろしま
登録企業



令和5年8月24日企業登録式 左:湯崎知事/右:弊社専務



乳がん
スキルアップ研修

社員向け「がん研修」の様子

■新しい福利厚生のかたち(LOVOT)

新しい福利厚生のかたちとして、社員のストレス軽減と癒し効果を目的に、令和5年11月に癒し系 AI ロボット (LOVOT)を導入しました。

その名も「デコくん」・男の子！

名前の由来は、環境省の推進する「デコ活」と、自社の「デジタル×エコ」の取り組みからちなんで名付けました(笑)

初めての人にはちょっぴり恥ずかしがり屋な性格ですが、世界最高水準のテクノロジーと、自動運転機能を搭載したデコくんは、自分で充電機能に戻れる賢い子！しかも、自社発電による太陽光電力(再エネ)で充電するとってもエコなやつ！



デコくんの周りにはいつも笑顔があります！
忙しい毎日でも、職場で働く社員さん達の癒しと休息を提供してくれています。

②「地域共生社会」の取り組み

■「障害者就労支援施設」への資源ごみ提供

毎月第1・3水曜日には町内会の方々と協力し、近くの障害者就労支援施設へ資源ゴミ(段ボール・新聞紙・空き缶等)を提供し、地域コミュニティの活性化に貢献しています。



■広島修道大学非常勤講師に就任

令和5年度より、弊社代表が「広島修道大学非常勤講師」に就任しました。



学生達には、損害保険の「社会的役割」をテーマに講義を行いました。

■「ごみステーションエリア」無償提供で景観美化



自社駐車場スペースの一部を地域町内会に無償で提供し、地域に景観美化に協力しています。

③ SDGs取り組みの情報発信



■WEB サイト全面リニューアル

2022年11月には、8年ぶりとなるWEBサイトの全面リニューアルを実施しました。当社が掲げる「みらいプロジェクト2030」に対する想いや、SDGsへの取り組みを発信するレイアウト構成となっています。<https://hiroshima-fp.com/>



■公式 SNS での情報配信

当社の公式インスタグラムでは、何気ない日常の写真を投稿したり、会社のイベントや情報を発信したりと、最近ではインスタグラムを活用しながら、Z世代などの若年層に向けてのアプローチを意識した活動にも力を入れています。



投稿内容としては、会社での何気ない内容からSDGsへの取り組みなど、新しい情報発信の場として、『ゆる〜く』やっています。また、2018年より導入した公式LINE@の登録者数は1800人を突破。毎月2回(10日・25日)のメッセージ配信を行っています。

また、LINE@のリッチメニューを新設し、ご登録済みのお客様が弊社のトップ画面からインスタやWEBサイトにワンタップで直接遷移できるように、利便性を向上させました。



■会社 PV 動画の制作 (YouTube)

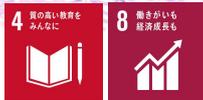
我々のステークホルダーに向けて、当社がSDGs達成のために3つの柱(コア・コンピタンス)に位置づけた「環境」・「健康」・「DX」に取り組む意義について、映像で分かりやすく説明したPV動画を制作しました。



<https://www.youtube.com/watch?v=OBqDmqC-e5A>

我々が目指す未来に向けたメッセージ性のある会社PVに仕上がっており、多くのステークホルダーから大変好評を頂きました。

④「人づくり経営・人材育成」



■企業の繁栄は「人づくり経営」にあり

どの会社でも事業の中核を担っているのは、いつも現場の社員さん達です。当社代表が経営者として最も大切にしていることは、企業の繁栄は「人づくりの経営」にあり・との考えです。自社の事業活動が「人・社会・環境」に少しでも役立つような存在であり続けること、全てのステークホルダーに「ありがとう」の感謝の心を大切にすること、これらを社員が自らのライフ・ワーク・バランスとして捉え、主体的かつ積極的に社会に貢献できる人材に育てる「人づくり経営」こそが、当社の人材育成の基本理念です。

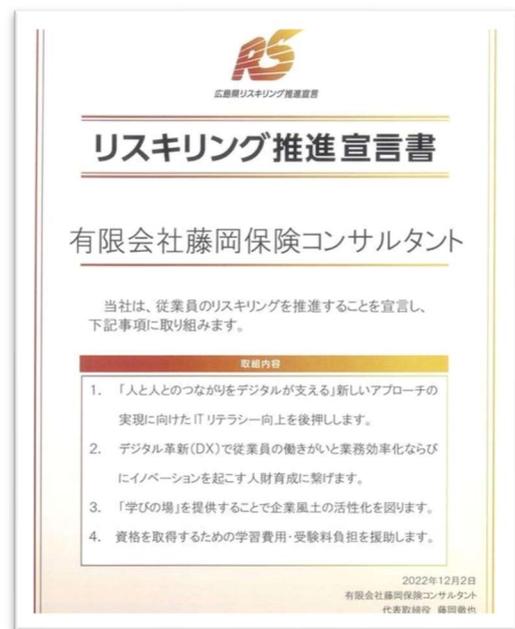
■「道徳・経済一体」経営の精神

道徳と経済は常に一体であるという考え方のもと、当社では、毎月の月初会議に「道徳の時間」を取り入れて、社員全員が学びを実践しています。弊社代表が目指す「人づくり」のゴールは、「社員が主役のSDGs」の実践です。利益を超えた「会社のカタチ」・・・すなわち「人づくり経営」です。地域に、社会に貢献できる「人づくり経営」の実現こそが、我々が目指し理想とする「会社のカタチ」です。



■広島県リスキリング推進宣言

従業員へのスキル再習得のための学び直しを提供することを宣言するため、県に「広島県リスキリング推進宣言書」を策定・提出しました。



■SDGs アドバイザーを取得

2022年7月に、弊社代表(藤岡徹也)が広島県で第1号となる「一般社団法人 SDGs 大学認定 SDGs アドバイザー」に合格しました。



⑤BCP 対策と情報セキュリティ



【事業継続力強化宣言】

大規模自然災害等の発生時には社員とご家族の「人命」を何よりも最優先します
平時から緊急事態に備えた事業継続力強化のための「教育・訓練」を実施します
感染症拡大時には事業活動への支障を最小限に抑えつつ社員の「安全と雇用」を守ります

■「事業継続力強化計画」認定企業

当社は、2022年3月15日付けで中国経済産業局長より、「事業継続力強化計画」に係る認定を取得しました。



事業継続力強化計画とは・
中小企業が策定した防災・減災・の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画（通称：ジギョケイ）」として認定する制度です。

《計画に記載する主たる項目》

- ◆ハザードマップ等を活用した自然災害リスクの確認方法
- ◆安否確認や避難の実施方法、災害時の初動対応手順
- ◆人員確保、事務所設備の保護、情報保護等の具体的対策
- ◆訓練の計画・実施・見直し、事業継続計画の実効性の取組

■緊急事態への準備及び対応に備えた机上演習

【ジギョケイ対策推進会議2023】

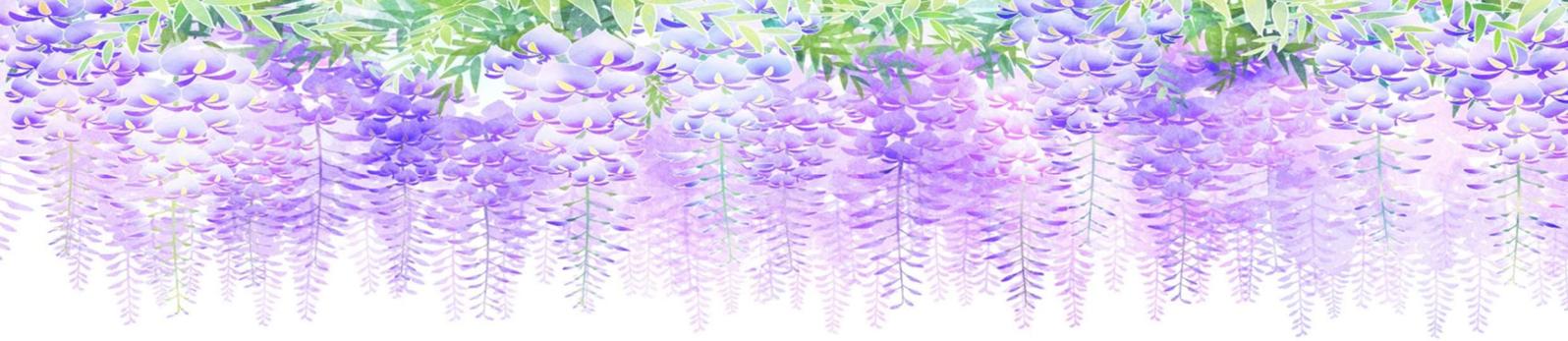
危機管理委員長（代表取締役社長）の指示の下、大規模地震を想定した、緊急事態への準備及び対応に備えるための社員教育「ジギョケイ対策推進会議」を実施し、今後の課題や具体的な対策などを検討し、実行性を確保したBCP対策の見直しを確認しました。

（実施日：2024年3月1日）

- 発災時での社員間の安否確認方法（LINEを活用）を確認。
- 当事業所におけるハザードマップを確認し、避難経路と避難場所の確認。
- 事業所ならびに自宅で想定される最大震度を確認。
- 大地震を想定した「机上教育・訓練」を討論形式で実施。
- 夜間・休日・通勤時での避難行動指針や出社体制の有無を確認。
- 火災・停電・断水に備え、事業活動が継続できる最低限の備蓄品を点検。



ジギョケイ対策会議の様子



■「SECURITY ACTION」対策自己宣言

当社は、2023年1月に独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が推奨する「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」に則り、セキュリティアクション対策自己宣言(2つ星)を宣言しました。

「SECURITY ACTION」対策自己宣言とは・・・

中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度で、二つ星はガイドライン付録の「5分で行える！情報セキュリティ自己診断」で自社状況を把握したうえで、情報セキュリティ基本方針を定めたことを、外部に公開した事を宣言した場合に使用できるロゴマークです。

<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/index.html>

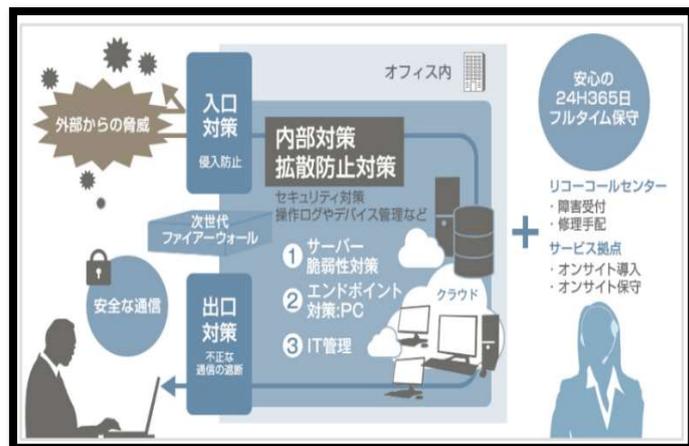


セキュリティ対策自己宣言

■情報セキュリティ管理体制&PW 設定強化

当社は、情報漏洩を防止するために、情報セキュリティ管理ルールを定め、お客様の個人情報や機密文書の施錠管理を徹底しています。

2023年1月にはPCログイン等のパスワード設定を強化(4種10文字以上)しました。あわせて昨今の巧妙化・悪質化する外部からのサーバー攻撃等や不正な通信に備えるため、委託業者(リコージャパン)と協力して、物理的セキュリティ対策強化を実施しています。



■太陽光発電で「災害時非常用電源」を整備

弊社は、保険代理店という立場であるため、大規模地震などの際での受け皿でもあります。そのため、有事の際でも事業継続力「災害レジリエンス」の強化が重要となります。

令和5年10月自社駐車場に自家消費型ソーラーカーポートを導入したことにより、大規模災害時による停電時でも、自家発電により非常用電源としての活用を確保しました。大規模災害時停電の際には、近隣地域の住民の皆さん達が電力を供給できる体制も整える予定です。



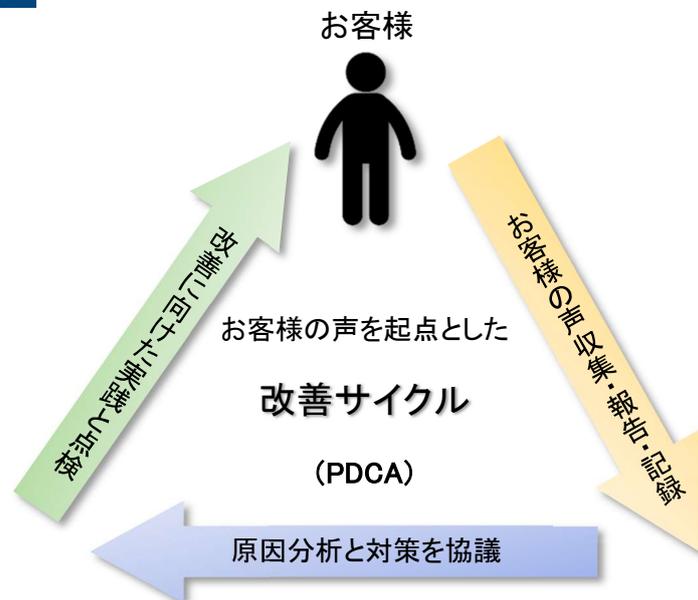
⑥ ガバナンス(企業統治)



■「お客様の声」の収集・記録と改善サイクル

当社は、「お客様の声」対応方針を策定し、お客様からの厳しいご意見・ご要望をはじめ、ご不満(苦情)やお褒めの声をしっかりと収集・記録し、頂いたお客様の声は、速やかに原因と対応内容を社内に報告・共有するしくみを構築しています。毎月1回(第4火曜日13時)「お客様の声」定例ミーティングを実施し、社内全員でPDCA 行い今後の対応マニュアルやサービスの改善に繋げています。

※2023年度ご不満(苦情)件数: 64件
(東京海上日動 TNET システム内にて記録保存)



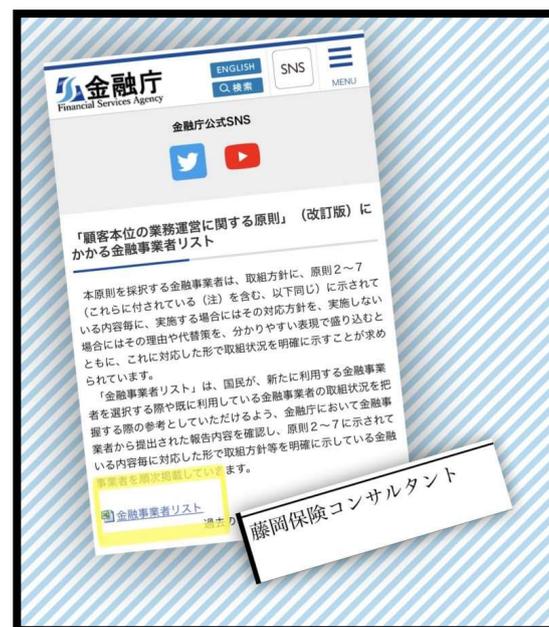
■「顧客本位の業務運営に関する原則」にかかる金融事業者リストへの掲載

弊社は、金融庁が公表する「顧客本位の業務運営に関する原則」にかかる【金融事業者リスト】に掲載された保険代理店です。損害保険代理店では全国で18店のみ(令和6年2月28日時点)。

「金融事業者リスト」とは・・・

金融庁は、よりよい取組を行う金融事業者が、顧客から選択されるメカニズムを実現するため、原則を採択し原則との対応関係を明らかにした取組方針等を示した金融事業者からの報告を受けて、内容を確認し「金融事業者リスト」として取りまとめ、定期的に公表しています。

https://www.fsa.go.jp/news/r4/kokyuhoni/20220909/fd_202



弊社は、これからもお客様に寄り添った業務運営を最優先に、徹底した室の高いサービスと、心地よい顧客体験価値をご提供して参ります。



⑦新聞取材・雑誌掲載等



新日本保険新聞(2023年新春特集号)

新日本保険新聞 2023年(令和5) (第三編集(雑誌版))

『SDGs経営に挑戦中!』

㈲藤岡保険コンサルタント 代表取締役 藤岡 徹也氏

「藤岡さんの経歴とSDGsの経営を聞いて、私もSDGsに支えられていることを実感しています。」

— 藤岡さんの経歴とSDGsの経営について —
 藤岡さん、30歳で、年々SDGsの経営を推進されています。SDGsの経営は、個人のコンサルタントとして、SDGsの経営を推進されています。SDGsの経営は、個人のコンサルタントとして、SDGsの経営を推進されています。

— 自らもSDGsに支えられていることを実感しています。 —
 藤岡さん、30歳で、年々SDGsの経営を推進されています。SDGsの経営は、個人のコンサルタントとして、SDGsの経営を推進されています。SDGsの経営は、個人のコンサルタントとして、SDGsの経営を推進されています。

中国新聞(令和5年8月23日号)

環境債購入 3社と協定 広島県

広島県は22日、環境施策の資金に充てる「グリーンボンド(環境債)」を購入した中国新聞社(広島市中区)、西川ゴム工業(西区)、藤岡保険コンサルタント(佐伯区)の3社とそれぞれ連携協定を結んだ。3社は県立六公園の一部に愛称を付け、環境保全活動に取り組み、中国新聞社は、もみき森林公園(廿日市市)の一角3秒で幅広い世代が集う森林体験イベントを催す。西川ゴム工業は、中国新聞社の岡島鉄也社

協定書を手にする、左から岡島社長、湯崎知事、小川社長、藤岡社長

長、西川ゴム工業の小川秀樹社長、藤岡保険コンサルタントの藤岡徹也社長たちが出席した。岡島社長は「子どもたちに環境の大切さを考えてもらえる活動をしたい」と強調。湯崎英彦知事は「息の長い活動になるよう期待する」と述べた。

県は2月、環境債50億円を発行し、県内外の103企業・団体が購入した。(伊藤友一)

鉄道維持など 国への要望決定 中四国9県正副議長

新日本保険新聞(令和5年6月8日号)

新日本保険新聞 2023年(令和5)6月8日(曜日) (第三編集(雑誌版))

環境省「エコ・ファースト企業」に認定

有限会社藤岡コンサルタント 代表取締役 藤岡 徹也氏

小規模事業者としては初の認定を受ける

環境省山田副大臣から認定証を受ける

環境省は、環境に配慮した経営を推進する企業を「エコ・ファースト企業」として認定する。藤岡徹也氏は、環境に配慮した経営を推進する企業として、環境省から認定証を受けた。

認定された企業は、環境に配慮した経営を推進する企業として、環境省から認定証を受けた。

広島経済レポート(令和5年9月21日号)

藤岡保険コンサルタント デコ活宣言など環境取り組み加速

藤岡保険コンサルタント(佐伯区)は、環境への取り組みを加速する。8月22日、広島県との「グリーンボンド環境保全活動に係る協定」締結に合わせ、同日30日には環境省が推進する「デコ活宣言」を行った。

グリーンボンドを購入した県と企業が協定を結び、県有施設の一部を活動フィールドに企業が森林づくりや海づくりに関する環境保全活動に取り組む。藤岡保険は県保有のみずとりの浜公園(佐伯区五日市町)の愛称を「藤岡保険のみずとりの浜シーサイドエリア」と命名し、子ども向け野鳥観察体験を通じた「生物多様性の向上につながる環境学習」を企画予定。中国新聞社と西川ゴム工業も同様の協定を結んだ。脱炭素につ

2023年9月21日号

岡山県情報誌エコマガジン「環境」(2023年春号)

企業で取り組む環境経営 エコアクション 21 vol.53

2030年までの目標を掲げ E.A21による環境経営の拡大で 持続可能な成長企業へ!

CO2排出量の実績と目標推移(単位:トン)

環境経営の仕組み

広島経済レポート(令和5年12月13日号)

藤岡保険コンサルタント ソーラーカーポートを導入

保険代理店の藤岡保険コンサルタント(佐伯区)は、駐車場に自家消費型ソーラーカーポートを設置した。太陽光パネル一体型で両面発電に対応した珍しいタイプ。EV充電器も同時に設けた。これにより使用電力の約80%を自社発電による再生エネルギーで賄う計画。4月には環境大臣から小規模事業者(従業員20人以下)として全国初の「エコ・ファースト企業」に認定されたほか、使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示す「再生エネルギー宣言」へ加盟している。

15. 代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価としては、念願だった太陽光発電設備(ソーラーカーポート)を導入し、自社消費電力を自家発電による再エネで賄う環境が実現し、これにより自社使用電力を再エネ自家発電約80%賄う事が可能となりました。その他、災害時の非常用電源としても活用できるなど、これらの成果は、新聞・テレビでも取り上げられ、多くのステークホルダーに取り組みを周知・評価頂きました。

また、広島県が全国初の取り組みとして「グリーンボンド」を購入した企業に、環境保全活動を支援するメニューを付与し、その対象企業に弊社を含む3社がコンペで選ばれ、県の保有する「みずとりの浜公園」の一部のネーミング権と、子ども達との野鳥観察会や清掃活動などの環境保全活動に取り組む協定を締結しました。

その他、2024年1月には広島県との「協定対象緑地」で海岸保全活動「野鳥観察会(環境学習)」も初めて開催しました。地元の子ども達と一緒に生物多様性保全への重要性や理解にも、しっかりと貢献していくこのイベントは、今後とも毎年継続して実施していく予定です。

平和都市広島は、今年はG7サミットも開催され、国際的にも今最も注目された都市の一つであると思います。私たち中小企業も、県が提唱する環境保全への方針に全力で賛同し、より良い地域社会と地球環境に、もっと多くの地元企業さん達にも、関心を持って頂けるよう、弊社も、取り組みを継続・発信して参りたいと思います。

社員には、当社の強みでもある「環境経営」と「DX」を融合した業務プロセスで、カーボンニュートラルの実現に向けて、引き続き環境省が定めた「エコアクション21」のガイドラインに則った実践を継続し、環境経営での社内におけるPDCAサイクルをしっかりと回し、実効性が確保された「脱炭素経営」を目指し取り組んでいくことを確認・指示しました。

環境への取り組みは、みんなで、一人一人が、自分毎として考えて、取り組まなければならない、今最も優先すべき社会課題であると同時に、私たちも、今を生きる現役世代の一人として、みらい世代が「安心・安全」に暮らせる社会の実現に、大企業だけでなく、中小企業もしっかりと責任を果たしていく…それこそが、責任ある企業としての「使命」であり「本質」ではなかと考えています。

我々も、業界をリードする環境先進企業としての自覚をもって、「グリーン」×「デジタル」×「レジリエント」な未来に向けて、自ら掲げた『エコ・ファーストの約束』への取り組みを着実に実践していきます。「みらい世代につなぐ、架け橋でありたい…」

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

2024年4月30日
代表取締役社長 藤岡徹也

16. 私たちが実現したい「みらいビジョン」



私たちが実現したい「みらいビジョン」

～“Beloved Company”(愛される会社)～